

再刊
日本地誌要畧

大槻修二編

六

特31-459
1200800177098
459

卷六
南海道
西海道
琉球

東京圖書館	
新門	九函
八部	五架
七類	八六八號



始



大槻修二編

第六

日本地誌要略

青山紅樹書樓藏版



大槻修二編

北海道

日本地誌要略卷之六

北海道ハ、紀伊淡路阿波讃岐伊豫土佐ノ六國ニシテ、相
連リテ、畿内及中國ノ南方ヲ限リ、共ニ大平洋ニ向ヒタ
リ、其地勢ハ、互ニ海水ヲ隔テタル島嶼ナレ氏、并セテ、一
道トナセリ、紀伊ハ、畿内ト境界相交リ、其東隅ハ、東海道
ニ接ス、蓋大和伊勢ノ間ヲ亘リ来ル山脈、茲ニ至リテ絶
斷ス、汐御崎ハ、最端ノ岬角ニシテ、四國島ノ室戸足摺ノ
兩岬ト、共ニ大洋中ニ突出シテ、三岬相並ベリ、四國ハ、阿

波以下ノ四國ヲ并セタル一大島ナレバ、仍テ此名アリ、其沿回四百五十里、島中ノ山脈ハ、東ヨリ西南ニ亘リテ、形勢ヲ南北ニ分テリ、阿波土佐ハ、南海ニ臨ミ、讃岐及伊豫北半ハ、海水ヲ隔テ、山陽道ト相對ス、其南半ハ、西ニ向ヒテ、九州島ト相望メリ、此大島ハ、即蝙蝠ノ兩翼ヲ張ル者ニシテ、其兩岬ヲ、翼ノ下端トナシ、宮岬宮崎相並ビテ、其兩肩ニ峙テリ、佐田御崎長ク出デ、左翼ノ尖ヲ伸シ、其右翼ノ端ヲ、淡路島トナス、淡路ハ、紀伊及阿波ノ際ニ夾レル島國ニシテ、其北端ハ、播磨ト海峽ヲ夾メリ、紀伊ハ、名草伊都那賀海部有田日高牟婁ノ七郡ナリ、

大塔峯國中第一ノ高山ニシテ、笠塔峯安堵峯半作峯三日森三森等、屬峯十七、其前後左右ニ連リテ、峻山重嶺、相重レリ、此國ハ、大和ノ吉野郡ヲ包ミテ、其三面ヲ圍ム、故ニ兩國ノ經界ハ、果無越、僅ニ行路ヲ通ズルノミ、東隅ハ、伊勢ト三國ノ界ヲ、大臺原トス、抑此重山ハ、即熊野ニシテ、上世ハ、郡名ヲ建テザリシガ、孝德帝ノ時ニ、始テ牟婁郡ヲ置ケリトゾ、其四境ノ大ハ、一國ノ七分ヲ有テリ、海岸ハ、伊勢ノ界ヨリ、田邊港ニ至ル七十六里、大塔峯以東ヲ、下郡ト呼ビ、以西ヲ、上郡ト云フ、本宮新宮那智ノ三處ニ、熊野三社ヲ奉祀ス、大峯川ハ、吉野山中ニ發源シテ、本

宮ノ下ヲ流レ、音無川岩田川ヲ并セテ、熊野川ト呼ビ、更ニ大臺原ヨリ来ル北山川ニ合ヒテ、雲取山ノ麓ヲ過ギ、新宮ニ至リテ海ニ入ル、河口ヲ成川ト云フ、其長流四十里、河幅百八十間、兩宮ノ間九里、常ニ舟運アリ、雲取ハ、大小兩嶺アリテ、那智山ニ連リ、山脈南ニ走リテ、海中ニ出ヅル二里、即汐御崎ナリ、那智ハ妙法山ト相並ビテ、共ニ十七峯ノ其一タリ、那智瀧直下八十四丈、日本第一ト稱セリ、下流一里餘ニシテ、濱宮ニ注ク、那智川ト云フ、汐御崎ハ、海潮急奔ナルヲ以テ、此名アリト云フ、近時燈臺ヲ建テ、方位ヲ示ス、其東角ヲ出雲崎ト云フ、大島其

前ニ横リ、周囲四里半ニシテ良泊アリ、是ヨリ東北ハ、楢崎ニ至ル、海上二十里計、熊野浦ト總稱セリ、新宮ヨリ西ハ、岬灣出入シテ、濱宮浦神大地古座ノ諸浦相列レリ、以東ハ平沙一帯、山崖ニ沿ヒテ、木本港ニ至ル、七里御濱ト呼バリ、○楢崎ハ、二木島三木里ノ兩港ヲ擁シテ、浦母崎其上ニ峙チタリ、蓋大臺原ヨリ且リ来ル山岳ハ、八鬼山最高險ニシテ、其脈海岸ニ至リテ、此岬角ヲナス、岬東ハ尾鷲長島ノ諸濱、直ニ伊勢ノ南島ニ連レバ、其古ハ同國ニ屬セシガ、今ハ荷坂崎ヲ、兩國ノ界トナス、田邊港ハ、鉛山崎ト、相抱キタル海灣ニシテ、沿回八里、灣

口一里計、鉛山ハ、湯崎ト呼ビ、温泉岬端ニ沸キテ、浴場ノ
建設アリ、且、頗、勝景ノ地ニシテ、上世ハ、牟婁温泉ト云ヒ、
齋明持統兩女帝ノ入浴シ給ヒシ事アリ、田邊ハ、熊野ニ
入ル岐路ニ當リテ、小都會ナル城市タリ、汐見峠ヲ超工、
山路二十里餘ニシテ、本宮ニ達スル者ヲ、中邊地ト云フ、
其海濱ニ沿ヒテ、朝來歸周參見及日置古座ノ諸浦ヲ歷
テ、新宮ニ至ル二十五里、大邊地ト云フ、富田大田日置古
座ノ四川ハ、皆熊野ノ深谷ニ發源シテ、各南流スル二十
餘里、共ニ其海濱ニ注ダリ、
日高川ハ、大和ノ界ヨリ出デ、西流四十里、在田川モ、亦

西ニ下ル三十里、其源ヲ高野山ノ大瀧トナス、各郡中ノ
諸川ヲ并セテ、共ニ海ニ入ル、比井岬ハ、兩郡ノ中間ヨリ、
西ニ突出シテ、阿波ノ椿崎ト相對シ、以北ハ、一ノ内海ヲ
ナシテ、苦島ノ海峽ニ至ル十里計、古ヨリ紀ノ海ト呼ベ
リ、其沿岸ハ、宮崎白崎荒崎等、出デ、湯淺黒江等ノ港市、
其間ニ臨ミ、浦初島黒島、其前ニ並ビタリ、岸上ハ、藤代峠
蕪坂糸鹿峠等、相列リ、白馬鉾米殿原矢筈ノ諸岳、其東南
ニ並立シテ、熊野ノ重山ニ接スレバ、平地甚少キモ、西北
ハ、紀川ノ兩岸ニ亘リテ、沃野遠ク連リタリ、
紀川ハ、大和ノ吉野川ノ下流ナリ、其長流四十里、國境ヨ

リ十五里、志津川中津川等ヲ并セテ、西ニ流レ、和歌山ノ
城市ヲ過ギ、一里ニシテ海ニ入ル、河口ハ舟泊ノ處タリ、
和歌山ハ、一大都會ニシテ、人口六萬、城市ハ、河口ト相連
リテ、最運輸ノ便アリ、○和歌浦ハ、有名ナル勝地ナリ、西
南ニ向ヒテ、河口ト相距ル二里、入江ノ沿回、二里計、名草
山其東ヲ限リ、洲崎前面ニ遮リ、風景明美ニシテ、古ハ明
光浦ト呼ビシトゾ、城市ト直路一里ヲ隔テ、其東ニ、日前
宮國懸宮アリ、熱田出雲ニ次ク古社ニシテ、佛寺ハ、紀三
井寺及粉川根來ノ舊寺アレド、金剛峯寺ノ壯大ナルニ
若カズ、是ヲ高野山トナス、其後山亦大和ニ接セリ、

葛城山ハ、大和ニ跨リ、其北面ハ、即金剛山ナリ、連峯一帯、
西ニ赴キテ、河内和泉ノ界ニ亘ル者、大小高低、並列セル
二十里、悉其稱呼ヲ同ジクス、城崎ニ至リテ盡ク、尚苦島
トナリテ、其脈ヲ、淡路島ニ連ヌ、苦島ハ、友島庄云フ、地島
周回一里、沖島二里、相並ビテ、三海峡ヲナス、中央ヲ中戸
ト呼ビ、東峽ハ、加太港、其峽外ニ臨ムヲ以テ、加太戸ト呼
ブ、直徑半里、其西峽ハ一里、由良戸ト呼ビテ、大船巨艦、皆
此間ヲ出入ス、故ニ燈臺ヲ建テ、入峽ノ目標トナセリ、
淡路ハ一島國ニシテ、津名三原ノ二郡ノミ、
島形狹長ニシテ、東西十三里、南北六里、其周回三十八里、

千光寺山其中央ニ峙チテ、一島ノ主山タリ、又先山ト呼
ベリ、踰鶴羽山ハ、南端ニ聳エ、極原山ト相並ビテ、其東端
ヲ、生石崎ト云フ、紀伊ト、苦島ノ海峡ヲ夾ム二里半、其沖
島ノ間ハ、即由良戸ナリ、由良ハ、成山島港前ニ横リテ、舟
泊ノ處ヲナス、洲本川一派ヲ分チテ海ニ入ル、其本川ハ、
三原川ト呼ビ、西流シテ、湊浦ニ注ダリ、洲本ハ、島中ノ都
會タリ、和泉攝津ト、相抱キタル内海ニ臨ミ、其濱浦ハ、平
坦相亘ル八里、佐野高山其上ニ列リテ、岩屋浦ニ至ル、其
岬端ヲ、松保崎ト呼ブ、即明石海峡ヲ夾ム者ニシテ、岬ヨ
リ西ハ、播磨灘ニ向ヒ、讃岐ノ小豆島ト相對シテ、其海水

ノ經界ヲナス、海岸十六里、郡家湊浦等、相並ビ、一岬高ク
峙チテ、鳴門ノ海峡ヲ扼スル者ヲ、行者森ト云フ、峽外モ、
兩岸相望ミ、福良港海灣深ク入りテ、碇泊ノ利アリ、其西
南岬ヲ、潮崎ト云フ、以南ハ、海幅漸廣クシテ、紀ノ海ノ北
ヲ限レリ、沼島其中間ニ峙チ、北ニ向ヒテ、良泊アリ、抑此
國ハ、海中ノ一島ナレド、畿内及中國、四國ニ接近セルヲ
以テ、田畝大ニ開ケ、海獵最盛ナリ、故ニ人員ハ、他ノ島國
ニ比スレバ、頗衆多ニシテ、沼島僅ニ周回二里ノ孤島、尚
千餘人ノ人口アリト云フ、
阿波ハ、十郡ニシテ、板野阿波三好美馬麻殖名東名西

勝浦那賀海部ト云フ、
國勢ヲ分チテ、南方北方ト云フ、其南方ハ、那賀川、土佐ノ
界ヨリ出デ、東ニ流ル、二十里ニシテ、海ニ入ル、河口
ノ沿海ハ、津峯白峯ノ兩山、共ニ岸上ニ峙チ、和田崎龍王
崎及餘津橘浦等、出入、相列リテ、紀伊ト相對シ、十八里ニ
シテ、椿崎ニ至ル、橘浦ハ、答島柏浦ト相連リテ、海灣深ク
入り、小勝舞子及高島長島等相並ブ、長島ニ港泊アリ、富
岡ハ其西ニ接セル街市ニシテ、小都會ノ處タリ、○椿崎
ハ、蒲生田崎ト云フ、伊島周回一里、岬前ニ峙チ、是ヨリ西
南ハ、悉大洋ヲ受ケ、海部郡沿海二十二里、高岸平浦相亘

リテ、大坂三浦ノ間、八坂八濱ト云フ、山中モ、玉津志山轟
瀧ノ勝地アリ、日和佐川ハ、那賀川ノ支流ニテ注ギ入り、
日和佐鞆浦那佐湊等、相連リ、柳島出羽島津島、其海上ニ
並ビテ、大島頗大ナリ、其周回二里、○穴喰浦ハ、西隅ノ港
灣ニシテ、乳崎其東ニ由デ、竹島ト灣口ヲ夾ミテ、沿回三
里、鈴峯其北ニ聳エテ、土佐ノ界ヲ限レリ、
吉野川地方ヲ、北方ト云フ、此川ハ、四國第一ノ大河ニシ
テ、坂東太郎筑紫三郎ノ間ニ位シテ、四國次郎ノ稱アリ、
源ヲ土佐ニ發シ、國境ノ重山ヲ穿チテ、東ニ下ル、其山際
ヲ祖谷ト呼ビテ、峽中ノ別郷アリ、居民二十戸計、自平氏

ノ遺裔ト稱ス、其行路ハ、高橋藤橋等ノ危険僅ニ往来ヲ
通ゼリ、川流ハ、伊豫ヨリ来ル山城川ヲ并セテ、大西ヲ過
ギ、漸山峽ヲ離ル、板野以下七郡、皆河岸ニ沿ヒタリ、下流
ハ、廣ク今切別宮津田ノ數派ニ分レ、水流ノ幅十二町、其
長流ハ、五十餘里ニシテ、河運ヲ通スル者、二十餘里、其津
田別宮兩派ノ間ヲ、徳島トナス、亦四國第一ノ都會ニシ
テ、人口五萬、海ニ臨ミ、山ニ接シ、城市ノ下、舟船常ニ輻湊
セリ、足利氏ノ時ニ、此國及讃岐ハ、共ニ細川氏ノ世領タ
リ、同族相爭フニ及ビ、其臣三好氏、奪略シテ、私領トナシ
シガ、長曾我部氏ノ土佐ヨリ起リテ、四國ヲ兼并セント

スルニ當リ、國界ノ重山ヲ超エテ大西城ヲ陷レ、遂ニ據
リテ、侵撃ノ要害トナシ、トゾ、蜂須賀氏ノ封國トナリ、
始テ、徳島ニ居城ヲ新築セリト云フ、
國境ノ山岳ハ、劍山極テ高峻ニシテ、土佐ニ跨リ、山脈遂
ニ國ノ中央ニ亘リテ、東ニ赴キ、高越山、焼山、寺山等、相並
ブ、即地勢ヲ南北ニ兩分スル者ナリ、徳島ノ南ニ至リテ、
眉山高ク秀テ、佐古勢見ノ兩山、其左右ニ接屬セリ、後山
ハ、靈鷲舎心ノ諸山トナリ、其脈絶ユル處ヲ、日峯トナス
其海岸ハ、齋田、小松島、共ニ津田川口ノ南ニ連リ、勝浦川、
流レテ、小松島ニ注ク、其海上ニ兜島アリ、千代松原、横津

松原等、海灣ニ亘リテ、其端ヲ、和田崎トナス、壽永末源義經ノ平氏ヲ讃岐ノ屋島ニ襲ハントスルヤ、風雨ニ乘ジテ、舟ヲ攝津ニ發シ、直ニ苦島海峡ヨリ、此地ニ来リ、其地名ノ勝浦ナルヲ知りテ、先其大勝ヲ祝セシト云フ、鳴門ハ有名ノ海峡ニシテ、東北ノ端角ニアリ、大毛山周回五里、島田山、四里、高島、三里、三島共ニ並ビテ、其端ニ列レリ、大毛ノ岬出デ、淡路ノ行者鼻ト相夾ム、直徑十八町、海水ノ出入スル者相逼リ、奔流激洄シテ、旋渦セル者、大鳴門小鳴門ト呼ブ、其聲激怒シテ轟雷ノ如シ、故ニ舟行ハ、潮汐ノ順逆ヲ察セザレハ、容易ニ、此峡ヲ航過スル

能ハスト云フ、蓋海底ノ巨礁、相亘リテ根脈ヲ兩岸ニ接ス、退潮ノ後、時々礁尖ヲ現セリ、其陸地ハ、木津岡崎ノ兩港アリ、共ニ峡外ニ臨ム、岡崎、撫養港ト云ヒ、最舟泊ニ便ナリ、廣戸川口ト、相距ル一里ニシテ、其鳴門以内ハ、内海ニ臨ミ、沿岸五里、讃岐ノ界ヲ大坂峠トナス、讃岐ハ、十一郡三島アリ、大内寒川、三木山田、香川、阿野、鷺足、那珂、豊田、多度、三野、及小豆島、直島、鹽飽島トナス、一國ノ海岸、悉内海ニ向ヒテ、中國ノ播磨及三備ト相對ス、其沿海ハ、山峙チテ、岬灣共ニ多シ、伊豫ノ境ヨリ、阿波ノ國界ニ至ル、環曲五十餘里、大串小串ノ兩岬、並ビ出テ

、小豆島其前ニ横ル、是ヨリ西ハ直島鹽飽島、各其屬島ヲ列ネテ、海幅相逼ル、兩岬ヨリ、南ニ折レテ、阿波ニ巨ル十二里、其海面ハ、淡路島ト相向ヒ、津田松原安戸池等、其海濱ニ列リ、佛生山、六妻山、其西南ニ峙チタリ、○此國ハ、四國中ノ小國ニシテ、其幅甚狹シ、阿波ノ界ハ、全島ノ向背ヲ分テル山脉相列リ、川流數條、其際ニ發源スル者ハ、觀音寺阿野野田高瀬土器香東府中圓座及漆川十川新川等アレド、其流長キ者、七八里ニ過ギズ、八栗山高ク海岸ニ聳エテ、五峯相並ブ、故ニ五劍山ノ稱アリ、東麓ノ海灣ヲ、志度浦ト云フ、其東端ハ、即小串崎ナ

リ、西麓ニ連ル岩山ヲ、屋島トナス、源平ノ古戰場ニシテ、安徳帝内裏跡、尚存セリ、海上ハ、鎧島兜島相並ビ、大島頗大ナリ、牟禮高松ノ兩地ハ、直ニ屋島ノ西ニ接ス、高松ハ、一都會ニシテ、舟泊ノ要津ナリ、大坂ニ至ル、海程四十六里、而テ中國ノ航路、皆此地ヨリ出入スト云フ、○白峯モ亦岸上ニ峙チテ、頗峻秀ナリ、其高キ峯ヲ、兒岳ト云フ、瀑布懸レリ、此山ハ、崇徳上皇ノ陵地ニシテ、其宮趾ヲ鼓岡ト云フ、土人、尚甲智御所ト呼ベリ、山端出デ、乃生崎トナリ、備前ノ兒島ト相對スルニ里、中央ヲ榎戸トナス、箱岬ハ、備中ノ白石ト相向ヒテ、水島火打ノ兩灘ヲ限レ

リ、山脈ハ、仁保山ヨリ来リテ、長ク由ツル七里、其海岸ヲ、箱浦ト云フ、栗島岬東ニ峙チテ、周回四里、○仁保山ハ、火打灘ニ向ヒテ、其海濱ヲ、有明濱ト云フ、伊豫ニ亘リテ、大灣ヲ抱キ、沿回四里、和田川ヲ國界トナス、雲邊山ハ、國中第一ノ高山ナリ、兩國ニ跨リテ其峯頂高ク群山ノ上ニ秀デタリ、○仁保ノ後山ハ、彌谷我拜師天霧等ノ諸山、其東南ニ相重リテ、象頭山ニ連ル、此山ハ、琴平神社ヲ奉祀シ、四方ノ崇敬スル處ニシテ、祠下ノ街市ヲ、松尾町ト云フ、詣人多ク集リテ、頗繁盛ナル小都會ナリ、
丸龜港ハ、西ヲ多度津トシ、東ヲ宇足津トス、共ニ舟泊ノ

地ナリ、相距ル各一里、其沿海共ニ平坦ニシテ、其東ニ又一港アリ、坂出ト云フ、飯山ハ、特立高ク秀デ、カ山ト云ヒ、形ヲ以テ、讚岐富士氏呼ベリ、丸龜ハ、城市繁盛ニシテ、松尾町ニ至ル五里、其間平野遠ク連リテ、琴平參詣ノ道路ハ、人馬ノ往来、晝夜絶エズ、故ニ港口ハ、舟舶常ニ輻湊セリ、備前ノ下津井ト、舟程五里、其海上ハ、乃生崎箱岬左右ヨリ、大灣ヲ抱キテ、鹽飽ノ群島、其前面ニ散布セリ、鹽飽ハ、直島、小豆島ト、三島ト稱シテ、郡ノ統屬ナシ、鹽飽本島及、廣島周回共ニ四里、佐柳島ハ、備中ノ眞鍋島ニ接ス、高見島ハ、箱浦ト相望ミ、島峯最高シ、牛島、妙彌島與島

ヲ并セテ、鹽飽七島ト云フ、其他手島、小手島、向笠島、長島等ノ屬島アリ、櫃石島頗大ナリ、直ニ下津井ノ前ニ横レリ、○直島モ、亦周回四里、兒島ノ東南端ニ近接シ、其屬島二十七、荒神牛首及向島、相島等、共ニ一里ノ周回ニシテ、女木、男木ノ兩島、相共ニ高松港ノ前面ニ並ビ、女木島沿岸二里、是ヲ屬島中ノ大ナル者トナス、○小豆島ハ淡路島ニ次グ大島ニシテ、其周回三十里、故ニ中國、四國ノ中間ナル羣島中ニ於テ、周防ノ八代島ト、東西ニ對峙セリ、星城山ハ、島ノ東端ニ立ち、金崎出デ、播磨ノ家島ニ對ス、大角吉野ノ兩岬、南ニ並出シテ、大串小串ノ兩角ト相

向フ、西南ニ土庄港アリ、其海上ノ豐島ハ、直島ト相並ビテ、其大モ、亦相若ク、小豐島、桂島、沖島等二十八屬島アレ、大ナル者一里計、其他多クハ、小嶼、巨礁ノミ、

伊豫ハ、宇摩、新居、周敷、桑村、越智、野間、風早、和氣、温泉、久米、浮穴、伊豫、喜多、宇和ノ十四郡ナリ

佐田御崎、正西ニ向ヒテ、海中ニ突出セル十七里、其幅ハ、廣處半里計、狹處ハ、四町ニ過ギズ、岬前ハ、岩礁散布シテ、其最遠キ者ヲ、黄金塔ト云フ、豊後ノ佐賀關ト、七里ノ海峽ヲ夾ミ、テ、内外海ノ經界ヲナス、○宮崎ハ、北ニ出デ、火打灘、硫黄灘ノ間ヲ限レリ、其西岬ヲ、梶取崎ト云ヒ、又

明神崎ト云フ、岬ヨリ西南ハ、沿海十三里ニシテ、三津濱ニ至ル、高輪山其岸上ニ峙ツ、河野氏ノ舊城趾ナリト云フ。〇一國ノ海岸ハ海勢ヲ三面ニ分チ、其北ノ二面ハ、共ニ山陽道ト相對シ、群島其間ニ並列シテ、屬境相交レリ、西ノ一面ハ、九州ノ豊後日向ト相向ヒテ、其南端ハ、大洋ニ臨ミ、内海浦外海浦ノ稱アリ、石槌山ハ、四國第一ノ高山ニシテ、瓶森ト相並ビテ、火打灘ニ向フ、其脈東ニ亘リテ、三角寺雲邊寺ノ兩山ニ接ス、即讚岐ノ界ナリ、其南陰ハ、阿波土佐ノ間ニ、三榜示峯高ク國境ニ峙チタリ、立川山別子山其銅坑ハ、探掘殆二百

年、溪流相集リテ、銅山川ト呼フ、阿波ノ山城川是ナリ、〇土佐ノ界ハ、全島ノ中脊ヲ限ル山脈ニシテ、重山高岳相列リ、西南ニ亘リテ、南海ノ岸ニ盡ク、桑瀬峯龜森唐岩峯、笹山及杖峠韭峠等共ニ高峻ナリ、然氏山間ノ水流尚深谷ノ際ヲ貫キテ、南ニ下ル者アリ、仁淀川其取大ナル者ナリ、南隅ハ、滑床川御内川皆土佐ニ入りテ、南海ニ注グ、其北流シテ、内海ニ入ル者ハ、肱川ヲ國中第一トナス、又比地川凡云フ、却テ其源ヲ土佐ニ發シ、長流十里、大洲ノ城市ヲ過ギ、四里ニシテ長濱ニ注ク、重信川ハ本名ヲ森松川ト云フ、砥部十六谷、及白猪唐岬ノ兩瀑布等ノ下

流、相集リテ、西北ニ下リ、松山ノ南ヲ經テ海ニ入ル、其流
七里、河口ヲ、今津ト云ヒ、三津濱ト相距ル二里餘、共ニ舟
泊ノ地ナリ、此川古ヨリ洪水ノ害多カリシガ、加藤氏ノ
臣足立重信、水流ヲ決シテ、堤防ヲ築キシヨリ、此名アリ
ト云フ、此兩川ハ共ニ硫黄灘ニ注ク者ニシテ、其火打灘
ニ入ル者ヲ、加茂川ト云フ、石槌、瓶森ノ岳陰ニ發源シ、亦
高籠、白糸瀧等ヲ并セテ、環流十里、西條ノ西北ヲ繞リテ、
喜多濱ニ注ク、又、本陣川ト呼マリ
海岸ノ火打灘ニ向フ處ハ、讚岐ノ箱岬ト、大灣ヲ抱キ、和
田川ヨリ、宮崎ニ至ル、沿岸二十五里、今治西條ノ兩城市

アリ、東隅ヲ川江ト云ヒ、北端ヲ波止港トナス、其海上ハ、
中島、豊島、元島等、相並ビ、陸地ニ接シテ、大島、黒島アリ、波
止港ハ、宮崎ノ東北岸ニ臨ミ、久留島港口ニ峙チテ、四圍
皆山ナリ、其東ヲ、中渡海峡トナス。○硫黄灘ハ、其西端周
防洋ニ接シテ、大島群島、其前ヲ圍メリ、南ハ、佐田岬、其屏
垣ヲ列ネテ、岬端ヨリ、三津濱ニ至ル三十四里、長濱、米湊
等、相列レリ、興居島、三津ノ前ニ横リテ、忽那島、其西北ニ
並ビ、周回八里、又、中島ト云フ、怒和津和ノ兩島、相共ニ並
列シテ、八代島ニ接ス、其他無須、喜野、忽那、油利ノ諸島、相
連リテ、其海水ノ經界ヲナセリ、○興居島ハ、周回七里、島

峯高ク聳エ、其形似ニ依リテ、小富士ト呼ブ、其東南灣、寂良港ニシテ、由良港ト云フ、

大島ハ、周回十一里、中渡海峡ヲ夾ミテ、宮崎ノ端ニ横ル、峽間ハ、馬島其中央ニ峙テ、武志中渡ノ兩小島相距ル各三百間、海水奔激シテ、舟行最危険ナリ、伯方島周回十里、其北ニ峙テ、岩城弓削、生名及佐島ト、共ニ連接シテ、安藝ノ生口島、備後ノ院島ト相交ル、大三島更ニ大ナリ、沿回十五里、伯方島ト、真栗瀬戸ヲ夾ム、岡村大下ノ兩島、其西ニ列リテ、亦安藝ノ大崎上下島ト、相接セリ、宇和郡ハ、一國三分ノ一ニ居ル大郡ニシテ、其海岸ハ、即

西ノ一面ヲ受ケ、外海浦ヨリ、佐田岬ニ至ル百餘里、由良福浦大池、大良及瀧崎等、突出シテ、下灘、蔭淵、三津、奥浦、皆江ノ灣浦相列リ、數十ノ群島、其前ニ並列セリ、日振島最大ナリ、周回六里、戸島其東ニ峙チテ、大池崎ト相對ス、大島ハ、地沖ノ兩島アリテ、瀧崎ノ前ニ並ベリ、大良崎モ、亦周回二里ノ島嶼タリ、竹島、御五神島ハ、共ニ日振島ノ南ニ連リ、其南洋中ハ、鹿島、横島、及卯来島、各峙チテ、共ニ外内海浦ニ屬シタリ、○宇和島ハ中央ノ海灣ニシテ、九島其口ニ横リ、灣内七里、南北兩口アリ、大船巨艦モ、常ニ其碇泊ノ安全ヲ保テリ、城市ハ、頗繁盛ナル一都會ナリ、吉

田ハ北三里ヲ隔デ、亦小城市ノ處タリ、足利氏ノ時ヨリ、西園寺氏、世々國司タリシガ、河野、宇都宮ノ兩族ト相争ヒ、後僅ニ此一郡ヲ領シテ、黒瀨城ニ居リシトゾ然ル共ニ長曾我部氏ノ滅スル所トナレリ、

抑此國ハ古ヨリ有名ナル舊國ナリ、上世ハ全島ヲ伊豫二名洲ト云ヒ、又愛媛ノ稱アリ、道後温泉最舊地ニシテ、郡名ノ起ル處タリ、景行仲哀ノ兩帝、及舒明、齊明天智、天武ノ四帝、皆入浴シ給ヒシカハ、五度御幸ト稱セリ、街市ハ、松山ト相距ル一里計、松山ハ、宇都宮氏ノ舊城タリシカ、加藤嘉明ノ封國トナルニ及ビ、亦此地ニ就キテ居城

ヲ定メタレバ、城市ノ繁盛、今尚國中第一ノ都會タリ、

土佐ハ、安喜香我美、長岡、土佐、吾川、高岡、幡多ノ七郡、

天武帝白鳳十三年十月、地大ニ震ヒ、土左ノ田苑五十餘萬頃、没シテ海トナリシトゾ、其痕跡尚一大海灣ヲナシ、沿灣百里、其形恰張弓ノ如シ、兩岬ノ端ハ、即室戸、足摺ノ兩岬ニシテ、相距ル直徑三十里計、矢筈山其中央ノ正北ニ秀デ、手筈、横倉、津野ノ諸山、其左右ニ並列セリ、其後山相列リテ、經界ヲナス者ハ、伊豫ト腹背ヲ分チテ、群峯共ニ高峻ナリ、國中モ、山岳高ク連リテ、原野甚少シ、高知近傍、僅ニ數里ノ平野アルノミ、然ル重山ハ、悉樹木繁茂

シテ、甚良幹巨材ニ富メリ、東方ハ、天狗森鐘龍森白髮山
五在所山等、相峙チテ、阿波ノ界ヲ限リ、山脈南ニ出デ、
峯頂最高峻ナル者ヲ、野根山ト云ヒ、其端ヲ、室戸崎トス、
又東寺崎ト呼ビ、其北ノ行當岬ヲ、西寺崎ト呼ブ、○國見
山ハ、高知ノ東北ニ峙チテ、其間ハ相距ル七里餘、伊豫ノ
官道ニシテ、山間十餘里、川江ニ達ス、國境ヲ、笹峯ト云フ、
阿波吉野川ノ上流、此山谷ヲ穿チ下リテ、東ニ流ル、其源
ハ、伊豫ノ界ナル龜森ヨリ出デ、兩岸極テ高シ、故ニ其
往来ハ、藤橋ヲ架ケテ、僅ニ人行ヲ通ゼリ、井川橋最奇險
ナリト云フ、○此國ノ川流ハ、大率急流ナレ、凡舟運ノ利

却テ多シ、仁淀川ハ、國ノ中央ヲ貫キ、屈曲シテ、南ニ下ル、
其水清冷ニシテ、深淵モ、其底ヲ窺フ可シ、長流十九里、新
居浦ニ注ゲリ、渡川ハ、第一ノ大河ニシテ、其源泉ノ甚多
キヲ以テ、四萬十川ト呼ベリ、其正源ハ、津野山ニ發シ、高
岡幡多兩郡ノ水、四方ヨリ集合シテ、水勢益大ナリ、西ニ
環リ、東ニ轉ジ、其流四十里、下流ノ幅、二十町計、中村ヲ過
ギテ、海ニ入ル、其河口ヲ、下田浦ト云フ、此他ノ諸川ハ、共
ニ東南ニ在リテ、皆阿波ノ界ニ發源セリ、奈半利、安田、伊
尾木等ハ、其流十里ニシテ、物部川頗大ナリ、白髮山ヨリ
出テ、西南ニ流ル、二十七里、並生川ヲ并セテ、吉原浦

ニ注ゲリ、以上皆大灣内ニ入ル者ニシテ、灣外ハ、東隅ノ野根川、阿波ヨリ来リテ、甲浦ノ西ニ入り、西端ノ宿毛川ハ、伊豫ノ御内川ノ下流ナリ、港泊ノ、大灣中ニ臨ム者ハ、宇佐須崎アリ、其他、海風ノ衝突ニ當リ、且潮流奔激セルヲ以テ、皆碇泊ニ便ナラズ、手結崎出デ、手結港ヲ擁シ、與津崎崎チテ、與津港ヲ圍メリ、室戸ノ岬陰、渡川ノ海口、僅ニ舟泊ニ堪ヘタリ、○灣外ハ、甲浦良港ニシテ、阿波ノ安喰浦ト、相距ル一里、港内ハ、東股西股ニ分レテ、京口土佐口ノ兩口アリ、宿毛港ハ、伊豫ノ外海浦ニ連リテ、國界ニ至ル二里、大島片島地浦島

前面ニ列リ、丸島灣内ニ峙チテ、東西ノ兩口、出入共ニ宜シ、港ヨリ南ハ、沿岸三十餘里、小浦湊浦小盡安瀾地、古満目、清水ノ諸港、相臨ミテ、足摺崎ニ至ル、其海上ハ、羣島並列シテ、柏島嶺大ナリ、沖島周回四里、最西ニ屹立セリ、高知ハ、一都會ニシテ入江ニ臨ミタル城市ナリ、入江ハ、吸江潮江、相對シ、五臺山、其東岸ニ峙チテ、鏡川西北ヨリ、注キ入り、沿回八里、頗勝景ノ地ニシテ、其海口ヲ、浦戸ト云フ、種崎龍頭崎、相夾ミテ、亦舟泊ノ處タリ、其港口ハ、國ノ大灣ノ正中ニ當リ、仁淀物部兩河口ト相距ル、東西各三里、○大永中一條大納言房家来リテ、國司トナリ、幡多

ノ中村ニ居リシガ、曾孫兼定ノ時ニ、其臣長曾我部元親、
自立シテ、國主トナリ、居城ヲ、浦戸ニ築キ、屢兵ヲ四方ニ
出シテ、攻戰二十四年、遂ニ悉四國ヲ兼并セリト云フ、
物産ハ、全道皆海國ナレバ、水産甚多シ、土佐熊野ノ鯨獵、
最大ナリ、鯉節ハ、土佐ヲ良トス、陸産ハ、兩地又巨材ニ富
ム、阿波藍土佐紙、輸出特ニ盛ナリ、讚岐伊豫ハ、鹽砂糖ヲ
多産トスレド、齋田鹽、其品赤穂ニ次ゲリ、保田織、松山縞、
三原燒、亦各地ノ名品タリ、紀伊ハ山海各五十萬石、一百
四十品、黒江椀、高野紙、及紋羽、綿糸、其蜜柑ハ、日高郡ノ産、
一歳七十五萬箱、紀州ノ名、世ノ共ニ賞味スル所ナリ、

西海道

西海道ハ、筑前筑後豊前豊後肥前肥後日向大隅薩摩ヲ、
九州ト云ヒ、壹岐對馬ヲ、二島ト呼ブ、并テ十一國ナリ、其
九州ハ、即西隅ノ一大島ニシテ、其形猿猴ノ立チテ舞フ
如キ者、是ナリ、筑前豊前ヲ、頭首トナシ、肥前ハ、右手ヲ伸
シ、豊後ハ、左肘ヲ張ル、肥後日向ハ、腰腹ヲ遶リテ、兩脚ヲ、
大隅薩摩トナス、其山脈ハ、中國兩道ヨリ來ル連山ヲ、背
脊トナシ、英彦阿蘇霧島ノ三高山、北ヨリ南ニ互リテ、九
國ヲ東西ニ分テリ、餘脈尚海中ニ散布シテ、種子夜久ノ、
兩島トナリ、寶七島ニ連リテ、琉球羣島ニ接セリ、而テ壹

岐對馬ハ、北海上ニ並ビテ、朝鮮ト海峽ヲ夾ミタリ。○上世ハ、全島ヲ筑紫ト總稱シテ、又、火國、豐國及日向熊襲ト、區域アリシガ、後、前後ニ令チテ、火國ハ、其字ヲ改メ、日向ハ、其舊ヲ存ス、薩摩大隅ヲ、熊襲ノ舊地トナス、熊襲ハ、土夷ノ巢窟ニシテ、梟帥屢叛キテ、王命ニ從ハザレバ、景行仲哀兩帝ノ親征シ給ヒシ事アリ、神功皇后ノ、三韓ヲ征定セシヨリ、西蕃ノ叛服、一ナラズ、此島其要衝ニ當ルヲ以テ、特ニ官府ヲ置キテ、之ニ備ヘタリ、欽明帝ノ時ヨリ、軍事ノ發遣、大率虛歲ナシ、故ニ大宰府ヲ筑前ニ建テ、全道ノ政治ヲ掌ラシメ、兵備學務租稅刑罪、共ニ一小政

府ヲナセバ、其稱呼モ、直ニ筑紫ト呼ビテ、他ノ六道ト並稱セズ、其西海道ノ命名ハ、蓋文武帝ノ巡察使ヲ置キシヲ、其始トスルナラン、聖武帝ノ時、大宰府ヲ廢シテ、鎮西府ヲ置キシガ、後、又、其舊ニ復セリ、然レ鎮西ノ稱、是ヨリ唱ハ來リ、今ハ西國ヲ以テ、全道ノ泛稱トス、

筑前ハ、遠賀鞆手嘉麻穗波宗像糟屋席田那珂御笠早良怡土志摩夜須上座下座ノ十五郡アリ、

博多津ハ、有名ノ良港ニシテ、古ヨリ外船ノ來泊スル處タリ、西北ニ向ヒテ、大灣ヲ開キ、沿回十餘里、其濱浦ハ、悉平坦ニシテ、行松相連リ、生松原箱崎松原等ノ勝地アリ、

残島志賀島相並ビテ、灣口ヲ擁ス、周回各二里、残島ハ、生
松原、姪濱ト相對セリ、志賀島ハ、一條ノ沙洲、其東ニ連リ
テ、灣ノ正北ヲ遮リ、白砂青松相列ル三里、海中道是ナリ、
香椎箱崎ハ、灣ノ東岸ニ並ビテ、古鞆濱ト呼ベリ、多田羅
川、兩地ノ間ヲ流レテ、海ニ入ル、河口ノ岬ヲ、名島崎ト云
フ、仲哀帝ノ、熊襲ヲ討セシヤ、九歳其功ヲ見ズ、遂ニ香椎
ノ行宮ニ崩御セリ、皇后其兵ヲ轉シテ、舟師直ニ三韓ヲ
征服セシメ、凱還シテ、應神帝ヲ産メリ、香椎神宮箱崎ハ
幡ハ、即兩帝ヲ奉祀セル處タリ、○博多ノ港市ハ、那珂川
ヲ夾ミテ、福岡ノ城市ト相連リ、繁盛ナル一都會ニシテ、

人口四萬三千、北ハ石塔川ヲ隔テ、箱崎ニ接シ、西ハ荒
戸崎出デ、名島ト對シ、相共ニ港頭ト兩角ヲナセリ、
大宰府ハ、博多ノ東南五里ニ在リ、今直ニ宰府ト呼ベリ、
其間地勢平坦ニシテ、水城ノ墟尚存セリ、上世外寇ニ備
ヘシ者ナルガ、蒙古來襲ノ時ニ、我兵據リテ、夷賊ヲ防擊
セシ處タリ、府址ハ、都府樓等、其礎跡ヲ殘セリ、菅右相ノ
左遷セラル、ヤ、此地ニ薨ゼシヲ以テ、今天滿天神ノ廟
社アリ、添川、思川、其際ヲ環リテ、湯町ノ温泉場ヨリ來ル
添川ト、相合ヒテ、西ニ下ル、石塔川是ナリ、天拜山、其傍ニ
峙チテ、寶滿山、更ニ高シ、竈門山、御笠山等ノ別稱アリ、根

千岳冷水嶺砒上山等、其東南ニ並列シ、山脈相分レテ、正北ニ亘リ、頭巾若杉新建ノ諸山相並ビテ、國ノ中央ニ連リ、其地勢ヲ東西ニ限レリ、北端ハ、孔大寺山湯川山トナリテ、海岸ニ盡ク其岬角ヲ、鐘御崎ト云フ、故ニ國內ノ水流、此連山ノ向背ニ依リテ、左右ニ流レ下ル、其西北ニ下ル者ハ、那珂右塔多田羅江田等、數里ノ川流ニシテ、正南ニ赴ク諸川ハ、皆千歳川ニ入ル、遠賀川獨、山東ノ衆水ヲ集メテ、北流ス、是ヲ國中第一ノ大川トナス、上流ヲ嘉麻川ト云ヒ、彦山ノ麓ヨリ出デ、大隈ニ至リテ、舟運アリ、更ニ冷水、大令ノ諸山ニ發スル者ト、合流シ、漸下リテ、豊前

ヨリ来ル赤池川ヲ并セ、直方木屋瀬ヲ過ギテ、始テ本稱ヲ呼バリ、其流十五里、河運ハ十二里餘、黒田氏ノ、此國ニ封ゼラル、ヤ、其水勢ヲ分チテ、灌溉運漕ノ兩利ヲ謀リ、百三十年ノ後ニ至リテ、始テ其功ヲ成就セシト云フ、其海口ハ、蘆屋山鹿ノ兩港相臨シ、灣内ハ、入江ニシテ、江水更ニ一派ヲ東ニ分チテ、山鹿橋ヨリ、本城ニ達スル一里、是ヲ鴨生田川ト云フ、本城ハ、藤田尾倉ノ諸濱ト、一ノ内海ヲ擁シテ、沿田六里、小田崎名護屋崎並ビ出デ、其海口ヲナス、若松港其西岸ニ臨メリ、○小田崎ヨリ以西ハ、皆外海ニ向ヒテ、鐘岬ニ至ル八里、蘆屋ノ外、又港泊ナシ、

山鹿ノ岬、高ク峙ツ者ヲ、岩屋崎ト呼ベリ、其海上ハ、白島ニ雄雌二嶼アリテ、長門豊前ノ群島ト相交レリ、鐘御崎ハ、最北ニ突出シ、地島其前ニ立チテ、舟泊ノ處アリ、草薙山モ、一ノ岬角ニテ、神港ヲ擁セリ、即宗像三社海濱宮ノ舊地ナリ、江田川東南ヨリ流レ來リテ、兩岬ノ間ニ注キ入ル、海上ニ大島横リテ、周回三里、島中ニ中瀛宮アリ、其西北洋中、四十五里ニ、沖島、高ク峙チテ、三峯並ビ秀ヅ、全山白石ニシテ、恰雪山ノ如シ、居民ナキモ、瀛瀛宮ヲ奉祀セルヲ以テ、時々渡航セリト云フ、楢崎ハ、神湊ノ西ニ出デ、是ヨリ、志賀島ニ至ル六里、玄界灘ニ臨ミ

テ、濱浦悉荒磯ナリ、相島周回一里、其中央ニ屹立セリ、國境ノ連岳ハ、豊前ノ彦山、東隅ニ聳エ、山脈北ニ亘リテ、福智岳、最高シ、皿倉帆柱ノ兩山、其端ニ並ビテ、藤田、尾倉ノ上ニ列レリ、肥前ノ境ハ、背振山、頗高峻ニシテ、酒盛、鬼鼻ノ諸山、相並ビ、那珂諸見ノ兩川、其際ニ發源セリ、那珂川ハ、上流ヲ、岩戸川ト云フ、諸見川ハ、流レテ、姪濱、荒戸崎ノ間ニ注ケリ、層々岐岳、獅子舞岳、更ニ峻秀ナリ、層々岐ハ、雷山ト呼ビ、其脈、西ニ環リテ、浮岳ニ盡ク、此連山ノ北ハ、怡土志摩ノ二郡ニシテ、岬出デ、灣入り、沿岸二十里、志摩ハ、島ナリ、兩入江、左右ヨリ逼リテ、其地、一ノ半島ヲナ

ス、多久持出及泉川、皆雷山ヨリ來リテ、東西ニ分レ注ケ
リ、○芥屋ノ大門崎ハ、西ニ向ヒテ、岩洞危礁、直立相峙チ、
頗奇勝ノ地タリ、又立石崎凡呼ベリ、岬前ノ姫島ハ、肥前
ノ島嶼ト相向ヒタリ、而テ岬陰ハ、岐志新町久我船越ノ
四濱、相共ニ一灣ヲ抱キテ、姫島ト共ニ舟泊ノ處タリ、○
西浦崎ハ、北ニ出テ、玄界島ト相向フ、其島ハ、周回一里、
又志賀島ト相對スルニ里ニシテ、博多灣ノ外口ヲ擁セ
リ、洋上十一里ヲ隔テ、於呂島アリ、其海水ハ、肥前ノ松
浦瀉ヨリ、長門ノ響灘ニ連ル三十里、即玄界灘ナリ、
齊明帝ノ三韓ヲ親征セントスルヤ、行宮ヲ朝座ニ建テ

シトゾ、木丸殿、尚舊趾ヲ存セリ、其地分レテ、上座、下座ノ
兩郡トナリ、夜須郡ト共ニ南隅ニ屬シ、千歳川ヲ夾ミテ、
筑後ト相對セリ、彦山其東ニ峙チ、山麓ヨリ西ニ互ル連
山ハ、古所山大今山等、其北ヲ限リテ、冷水嶺ニ接ス、其嶺
ハ、長崎ノ官道ニ當レリ、山間ノ一邑ヲ、秋月ト云フ、一水
彦山ヨリ來リ、西南ニ流レテ、秋月依井ノ兩派トナル、其
他山田、志波、葦木及三奈木川、各流レテ千歳川ニ入ル、
筑後ハ十郡ニシテ、生葉竹原山本竹野御原三瀨山門
御池、上妻下妻ト云フ、

千歳川ハ、九州第一ノ大川ニシテ、筑紫三郎ト呼ビ、筑後

川ヲ其通稱トナス、豊後ヨリ來リ、筑前ノ界ニ沿ヒテ、西ニ流レ、巨瀬川ヲ并セテ、南ニ轉ジ、久留米ノ城市ヲ繞ル、其地ハ、毛利秀包ガ、居城セシ處ニシテ、今尚國中ノ一都會タリ、川流ハ、又肥前ノ境ヲ流レ、城島川、廣川等、注キ入リ、其幅廣キ處五町計、大野島ヲ抱キテ、海ニ入ル、國內ヲ流ル、者、十八里ニシテ、源ヨリハ、三十五里ノ長流タリ、○矢部川ハ、肥後豊後ノ界ニ發シテ、西ニ流ル、十五里分レテ、瀬高沖端ノ兩川トナル、瀬高ノ河口ヲ、島堀切ト云フ、舟泊ノ處タリ、沖端川ハ、柳川ノ城市ヲ過ギ、又兩派トナリ、一里ニシテ、海ニ入ル、其支流ヲ、鹽塚川ト呼ブ、柳

川ハ、立花氏世々ノ城地ニシテ、其繁盛ハ、久留米ニ次ダリ、○星野川ハ、熊戸山ヨリ出デ、重山ノ際ニテ、兩流ニ分レ、支流ハ、直ニ矢部川ニ入ル、本流ハ、西ニ流ル、十里餘、高良山ノ麓ヲ繞リテ、西北ニ赴ク、城島川是ナリ、廣川モ、亦其重山ノ間ニ發源セル者、西流五里、又甘木川ト云フ、以上ノ諸川ハ、其今合スル處、總テ平野ノ間ニシテ、平坦五里、西北ハ、肥前ニ亘リテ、又岡阜ナシ、筑後川ノ海口ヨリ、肥後ノ界ニ至ル十一里、若津新地及大牟田ノ諸港アリ、其海上ハ、古ヨリ筑紫瀉ト呼ビ、兩肥ノ中間ニ湛フル内海ニシテ、沿灣殆九十里、呼ビテ前海ト云フ、其海底

悉泥土ニシテ、海漁舟泊、共ニ其利ヲ得ズト云フ、
御前岳ハ、國中第一ノ高山ナリ、群山其左右ニ重リテ、肥
後豊後ノ界ニ至ル、上妻下妻ノ兩郡、共ニ峽間ノ村里々
リ、○高良山ハ、國ノ中央ニ立チテ、平野ノ東南ヲ限リ、其
峯ヲ吉見岳ト云フ、耳納山其後ニ連リテ、並列一帯、其高
キ者ヲ鷹取山ト云フ、土俗ハ、屏風山ト總稱セリ、此連峯
ハ、地勢ノ經界ヲ限ル者ニシテ、東ニ亘リテ、熊戸山ニ接
セリ、是ヲ豊後ノ界トナス、即筑後矢部ノ兩川、其流路ヲ
令テル者ニテ、矢部川ノ上流ハ、上下妻郡ノ間ヲ下レリ、
筑後川ハ、兩岸ニ亘リテ、平坦ナル十餘里、生業以下六郡

沃土大ニ開クレド、洪水ノ害、歳々少カラズト云フ、南北
朝ノ際ニ、筑前ノ少貳氏、豊後ノ大友氏、相共ニ王師ニ叛
キシカバ、菊池武光肥後ヨリ来リ、征西大將軍懷良親王
ヲ奉ジテ、精兵八千、高良耳納ノ山上ニ陣シ、敵兵ト、筑後
川ヲ夾ミタリ、遂ニ進ミテ、奮戰終日、兩氏ノ兵六萬ヲ破
リシトゾ、河中、尚武光ガ太刀洗石ノ舊蹟ヲ存セリ、

豊前ハ、田河企救京都仲津築城上毛下毛宇佐ノ八郡、
英彦山ハ、直ニ彦山ト呼ビ、古ハ日子山ト唱ヘシトゾ、其
峯最峻秀ニシテ、高ク南隅ヲ擁シ、筑前豊後ニ跨レリ、川
流ハ、山中ニ發源スル者、數川アリテ、各方ニ流レ下ル、豊

後ニ注ク者ハ、三隈川ニ合ヒテ、筑後川トナル、其西北ニ流レテ、筑前ニ入ル者ハ、即赤池川ナリ、而テ、國內ヲ流ル、諸川ハ、今川ハ、北流十里ニシテ、叢島ニ注ケリ、高瀬川ハ、上流ヲ、山國谷ト云フ、溪間ハ、洞門巨岩相列リ、羅漢寺等、頗奇勝ノ地タリ、其水東北ニ環流スル、十三里、中津ノ城市ヲ過キテ、海ニ入ル、中津ハ、中央ノ一都會ナリ、故ニ又、中津川ト呼ベリ、以上、皆同源ニシテ、各流スレ、惟東隅ノ驛貫川、獨其源泉ヲ異ニセリ、上流ハ、東西推屋、及富貴野ノ三瀑布アリ、流レテ、深見川トナリ、豊後ノ油布岳、及福間岳ヨリ來ル津房惠良ノ兩川ヲ并セテ、宇佐ノ

西ヲ遶リ、八里ニシテ、長洲浦ニ注ケリ、○宇佐神宮ハ、和銅五年ニ、應神帝ヲ奉祀シテ、八幡大神ト稱セシ、古社ニシテ、御許山其上ニ、篲エテ、豊後ノ界ニ接セリ、門司關ハ、正北ニ突出セル岬端ニ在リテ、即長門ト早鞆瀬戸ヲ扼スル者ナリ、峽東ノ田浦港ハ、下關ト海峽ノ内外ニテ、互ニ舟泊ノ便利ヲナセリ、峽西ノ、大里浦モ、亦大瀬戸ヲ夾ミテ、引島ト對ス、小倉ノ城市、其南岸ニ臨ミテ、下關ト、海程三里、九州官道ノ初地ニシテ、頗繁盛ナル都會ナリ、海上ハ、遙ニ響灘ニ向ヒ、藍島馬島相並ビテ、長門ノ六連島、及筑前ノ白島ト相交レリ、蒲生川ハ、南ヨリ來

リテ、港内ニ注ク、又紫川ト云フ、其源ヲ菅生瀧トナス、北流四里餘、福智岳其西ニ峙チテ、筑前ノ界ヲ限レリ、犬岳岩岳ハ、中央ニ峙チテ、共ニ彦山ノ屬峯ニ列レリ、平峽野山、其西ニ連リ、山頂ハ、平坦ナル高原ニシテ、方一里計、其山東ヲ、京都郡トナス、景行帝ノ、熊襲ヲ親征シ給ヒシ時、行宮ヲ長峽ニ建テシトゾ、其趾尚御所谷ト呼ベリ、實ニ郡名ノ起原タリ、其東北ニ聳ユル一山ヲ、貫山トナス、霧岳ト相並ビテ、共ニ周防洋ニ向フ、其端ハ、即門司關ナリ、○松尾雁股、八面通桶ノ諸山ハ、中央以東ノ連峯ニシテ、鹿熊山ニ接ス、鹿嵐山更ニ其東ニ峙チテ、立石籬戸

烏帽子龍泉寺山等、其左右ニ並列セリ、人見岳馬城峯、其後ニ聳エテ、豊後ニ跨レリ、馬城峯ハ、即御許山ナリ、一國ノ海岸、平坦三十里、門司關ノ岬、遙ニ豊後ノ國崎ト相對シ、其内ハ、大灣ヲ抱キテ、周防洋ヲ圍ミタリ、中央ノ鵜島ハ、極テ小嶼ナレド、舟泊ノ利アリ、凡此海上ハ、岸邊ニ接シテ、此島及、叢島神島ノ三小島アルノミ、豊後モ國東速見大分海部直入、大野玖珠日田ノ八郡、國崎ハ、實ニ一國ノ岬角ニシテ、東北ニ突出セル一大半島ナリ、昔時東西ニ分郡セシニ依リテ、今尚國東ノ字ヲ用キタリ、其沿岸二十七里、二子山中央ニ峙チテ、文珠山

北諸野田 卷之六
黒木岳、八面山等、其前後ニ並列セリ、北端ハ、檜来、堅来、富
来ノ諸濱、列リテ、竹田津ヲ舟泊ノ處トナス、姫島、其海上
ニ峙チテ、周回、四里、周防洋ト、硫黄灘ノ間ヲ限レリ、郡ノ
南端ヲ、美濃崎ト云フ、鶴崎ト相對スル七里、其内ハ、大ナ
ル内海ニシテ、沿灣、二十里、守江、深江、日出、別府、三佐ノ諸
港、相臨ミタリ、大分川ハ、府内ヲ遶リ、八坂川ハ、杵築ニ至
リ、各灣内ニ注ケリ、兩地ハ、海水ヲ隔テ、相望メル、城市
ニシテ、府内ハ、大友氏、世々ノ居城ナレバ、今尚國中ノ一
都會タリ、鶴崎ト、相距ル三里、其間地勢ノ平坦ナルヲ、數
里ニ亘レリ、○油布、鶴見ノ兩火山、相並ビテ、灣ノ正西ニ

聳エ、山麓ニ、温泉多シ、西谷ヲ、油布院ト云フ、東ハ、海濱ニ
別府濱、脇鐵輪ノ諸泉アリ、兩岳ノ北ハ、直ニ豊後ニ接シ
テ、津房川、八坂川、各源泉ヲ、其際ニ發セリ、四極山ハ、東南
ニ連リテ、直ニ海岸ニ峙チ、府内ノ西ニ里ヲ隔テタリ、大
友氏時ガ、據リテ、菊池氏ニ敵セシ、高崎城是ナリ、堂尻川
ハ、油布院谷ヨリ出テ、其山ノ東南ニ繞リ、九重山ニ發
源セル、朽網川ト合ヒテ、光吉川、又由布川、氏呼ベリ、其流
十三里、海口ヲ、今津留ト云フ、即大分川ナリ、
佐賀關ハ、海中ニ出ヅル六里、其岬ヲ、地藏崎ト云フ、斷崖
高ク、峙チ、正東ニ向ヒテ、伊豫ノ佐田岬ト、海峡ヲ、夾ム七

里、古速吸門ト呼ビシ者、是ナリ、高島岬前二里ヲ隔テ、
海峽ノ中央ニ屹立セリ、佐賀ハ、前後ニ港泊アリ、北面ヲ、
上浦ト云ヒ、南面ヲ、下浦ト云フ、○岬ヨリ南ハ、海部一郡
伊豫ト向ヒテ、相距ル十餘里、其沿岸七十五里、楠屋保戸、
鶴見、黒山宇土及芹崎等、突出シテ、其間海灣深ク入り、白
杵佐伯ノ兩城市、相臨ミテ、海漁ノ業、最盛ナリ、大入島周
回五里、方島ハ、中沖ノ兩島アリ、長島屋島ト、相並ビテ佐
伯港ノ前面ニ列レリ、保戸島ハ、保戸崎ト相對シ、無垢島
ハ、兩島其東北ニ並ビテ、地島沖島ト呼ベリ、大島モ、亦鶴
見崎ノ前ニ横リテ、周回二里ニ及ベシ、居民ナシ、其海上

四里ニ、岩礁高ク立チテ、舟行ノ障碍ヲナス者ヲ、水子答
ト云フ、屋形島ハ、南隅ニ在ル、蒲江港ノ海上ニシテ、其西
南ノ深島ハ、既ニ日向ノ境ニ接セリ、
大野以下ノ四郡ハ、共ニ山間ニ在リ、西ハ肥後ニ界シテ、
地勢ヲ南北ニ兩分セリ、大野直入ハ、南方ニアリテ、南境
ハ、日向ニ接シ、玖珠日高ハ、北方ニシテ、豊前筑後ノ間ニ
夾レリ、水流ハ、各集リテ、兩川トナリ、互ニ東西ニ流レ下
リタリ、涌蓋山ハ、西境ニ跨リ、九重山其脈ヲ承ケテ、東ニ
亘ル、扇鼻大船天狗及前岳ノ屬峯ヲ列ネテ、黒岳ニ接ス、
仍テ、南北兩地ノ經界ヲ限レリ、黒岳ニ兩池アリ、男池ノ

水ハ、堂尻川ニ合ヒ、女池ハ流レテ、玖珠川トナル、山脈更ニ分レテ熊群山、峰峠等、北ニ赴キテ、由布岳ニ連レリ、其東南ニ並列セル連山ハ、有藏鉾塔及靈山等、相共ニ大野ノ東北ヲ限レリ、○大野ハ、山間ニ平野アルヲ以テ、其名アリト云フ、西南隅ハ、祖母山高ク肥後日向ノ間ニ峙チ、其脈東ニ走リテ、傾山、桑原山等、南境ヲ圍ミタリ、水流四方ヨリ集リテ、一大河トナル、其源ハ、肥後ヨリ来リ、柏原葎原ノ兩川ト合ヒテ、大野川トナル、稻葉川ハ、九重山ノ溪水ヲ集メテ、北ヨリ来リ、岡ノ城市ヲ繞リテ、相合ス、岡ハ、竹田氏云ヒテ、都會ノ地タリ、川流ハ、東流シテ、沈墮

瀧ノ下流ヲ并セテ、其勢頗大ナリ、岩戸川ハ、源ヲ、祖母山ニ發シテ、傾山ヨリ来ル、犬飼川ト合流ス、數川ノ一トナリテ、東北ニ赴クヤ、白瀧川ト呼ベリ、然レ、此河ノ名ハ、本支殆定稱ナシ、其流三十四里、舟運ハ七里半、下流兩派ニ分ルレ氏、共ニ鶴崎ニ注キテ、河口ハ、中島家島等、相並ビタリ、○日高ハ、日田ト呼ブ、亦山間數里ノ平地アリ、其筑後ノ界ハ、熊門山、高ク聳エ、彦山、其北隅ニ秀デ、筑前豊前ニ跨レリ、東南ハ、萬年山、平家山、相重リテ、由布岳、九重山ニ連レリ、其北ハ、豊前ニ接シ、山間ノ一邑ヲ、森ト云フ、小野川ハ、彦山ヨリ来リ、日田、豆田ノ間ヲ流レテ、三隈川

ニ入ル、兩邑ハ、隈町ト相接シテ、一都會ノ地、又并セテ、日田ト呼ブ、玖珠川ハ、源泉最遠シ、黒岳ノ池水ヨリ出ヅル者、懸リテ、振動瀧トナル、直下四十丈、下流ハ、森帆足ヲ過ギテ、西ニ繞レリ、肥後ノ阿蘇川、南ヨリ来リテ、大山川ト呼ビ、相合ヒテ、隈町ヲ過ギ、始テ三隈川ト云フ、又郡名ヲ以テ、日田川ト總稱セリ、即筑後川ノ上流ナリ、

肥前ハ、基肆、養父、三根、神崎、佐嘉、小城、杵島、藤津、高来、彼杵松浦ノ十一郡アリ、

國勢ハ、三面ニ海ヲ受ケテ、岬角四方ニ突出セリ、或ハ半島高ク峙チ、或ハ海灣深ク入ル、其沿海、殆、二百里、惟東北

ハ、山脈、河流ヲ限リテ、兩筑ニ界セリ、上官岳ハ、即筑前ノ背振山ニシテ、雷岳、破金岳モ、亦層々岐、獅子舞ト、同山ナリ、其脈、中央ヨリ、西ニ分レテ、國見山トナリ、南ニ繞リテ、天山、多良山トナル、多良ハ、直ニ海岸ニ峙チテ、其沿海ニ、龜浦、湯江等、相並ビテ、西ハ、諫早ニ連リタリ、基肆以下ノ八郡ハ、悉、此連山ノ東南ニ在リテ、前海ノ沿岸、二十里、筑後川、國界ヲ限リタレド、地勢ハ、平坦ニシテ、兩國ニ亘レリ、川流數條、皆北境ヨリ来リテ、寒水川、神崎川ハ、筑後川ニ入リ、本庄、牛津、住江、鹽田、六角ノ諸川ハ、各流レテ、海ニ入ル、其海、悉、泥濁ニシテ、舟泊ノ利、少シ、○佐嘉ハ、國中ノ

一都會、本庄川ニ沿ヒテ、城市ヲ設ケタリ、潮汐相通ジテ、海舶ヲ納ル可シ、此城ハ、龍造寺鍋島ノ兩氏、相繼ギテ、此國ノ大半ヲ保チシ治城ナレバ、今尚其繁盛ヲ存セリ、島原ハ、一大半島ニシテ、其沿回三十里、一條ノ地峽ヲ以テ、諫早ニ接セリ、温泉岳ハ、島中ノ主山タリ、高峯常ニ硫烟ヲ吐キ、且山中ニ、火坑温泉甚多シ、其東岸ヲ、島原ノ城市トナス、舟泊ノ處ニシテ、肥後ト内海ヲ隔テ、相對ス、其間十餘里計、此城ハ、高來城ト云ヒテ、元和中ニ新築セシ處ナリ、其舊城ハ、南端ノ海岸ニアリテ、原城ト云フ、有馬氏、世々此城ニ居リ、又、丙城ト呼ビシガ、後廢城トナレ

リ、寛永中、天草賊ノ據リテ、騷擾ノ事アリシハ、即此城ナリ、有馬山、其西北ニ峙チテ、岬端ノ口津モ、亦港泊ノ地、肥後ノ天草島ト、海峽ヲ夾ム一里計、即前海ノ門口ニシテ、峽外ヲ、千々輪灘ト呼ベリ、彼杵入海ハ、海水北ヨリ入り、沿回殆八十里、甲崎黒口崎、其灣口ヲ擁ス、其間十町計、灣外ハ、大島、平島、松島等、周圍各三里ヨリ、七里ニ及ブ、其更ニ大ナル者ハ、灣内ノ針尾島、周圍十六里、鯛浦ニ舟泊アリ、島西ノ海峽甚狹シ、然凡、行舟皆出入シテ、針尾瀬戸ト呼ベリ、其内海ハ、南北八里餘、東西四里、時津大村、彼杵ノ諸邑、其岸ニ並ビ、箕島、白島

高島等、其中央ニ峙キタリ、大村ハ、東岸ノ小城市ニシテ、時津ハ、西岸ニ臨ミ、長崎ト、直路一里ヲ隔ツルノミ、長崎ハ、五港ノ一ナリ、海灣ニ里餘、其地山圍ノ際ニ夾レ、海水深クシテ、常ニ風濤ノ患ナシ、稻佐山北岸ヲ圍ミテ、其端ヲ、神崎ト云フ、神島沖島鷹島岬前ヨリ列リテ、香焼島頗大ナリ、周回四里、伊王島ニ、燈臺ヲ建テ、入港ノ標目トナス、抑此港ハ、寛永十八年、始テ支那和蘭兩國ノ通商ヲ許シテ、他港ノ交易ヲ禁ゼシガ、二百二十八年ヲ歷テ、安政六年、横濱箱館ト同ジク、更ニ各國ノ互市場ヲ開キタリ、故ニ繁盛ナル一都會ニシテ、人口三萬、製鐵、造船

ノ諸場ノ如キハ、實ニ此港ヲ其初トセリ、港ノ南岸ハ、長ク出ツル九里、其岬ヲ、野母崎トナス、南側ヲ、脇津ト云ヒ、其岬ヲ、脇御崎ト呼フ、樺島其海上ニ峙テリ、松浦瀉ハ、正北海上ノ總稱ナリ、東ハ、玄界灘ニ連リ、西ハ、平戸五島ノ群島、並列シテ、其經界ヲ限リ、馬渡島其中央ニ峙テリ、波戸崎ハ、北出ノ岬角ニシテ、其陰ヲ、名古屋トナス、壹岐對馬ニ航スル要津タリ、豊臣氏ノ兵ヲ朝鮮ニ用井シ時モ、亦舟師ヲ此港ヨリ發遣セシメタリ、呼子浦モ、良港ニシテ、其東ニ並ベリ、海上ハ、加部加唐神集ノ諸島、其前面ニ散布シテ、神集ハ、筑前ノ姫島ト相向ヘリ、松

浦川、玉島川、北流シテ、海ニ入ル。唐津ノ城市ハ、松浦川ノ
海口ニ臨ミ、名古屋ト相距ル五里、亦朝鮮ノ役ニ、新ニ築
キテ、本營ヲ建テシ處タリ。滿島濱崎、其東ニ連リテ、海濱
ヲ虹松原ト云ヒ、白砂青松相連ル二里、頗勝地タリ。領中
振山、其北ニ立チテ、浮岳ニ接シ、玉島川ハ、國界ニ沿ヒテ
流レタリ。○伊萬里灣ハ、鷹島、其外口ヲ擁シ、福島、其内口
ヲ扼ス、共ニ周回十里、灣ノ沿回、二十五里、伊萬里ノ街市、
其南岸ニ臨ミ、有田川、南ヨリ来リテ、其西ニ注ゲル、
此國ハ、島嶼ノ多キヲ、他國其比ナシ、全數一千十八島、其
高來郡ニ屬セル者、八十七、彼杵ハ二百五十、松浦最多シ、

六百七十、其中平戸ノ屬島七十、五島ハ二百六十三、而テ
前海ノ岸ハ、大中竹崎ノ兩島アルノミ、○平戸島ハ、周回
四十三里、安瀟岳中央ニ立チ、白岳ハ、東岬ニ聳エ、志自岐
山ハ、西端ニ峙チタリ、青佐崎ト、雷瀬戸ヲ夾ミテ、陸地ニ
接セリ、平戸ノ城市ハ、西岸ニ臨ミテ、舟泊ノ處タリ、薄香
川内田助ノ諸浦皆碇泊ノ利アリ、屬島ノ大ナル者、生屬
島、周回七里、大島八里、舟泊アリ、度島三里、共ニ本島ノ北
ニ並ベリ、黒島獨、正南ニ屹立セリ、○五島ハ、五大島相並
ビタレバ、此總稱アリ、福江島、西端ニ居リ、中通島、東端ニ
横リ、周回共ニ六十里、久賀、奈留、若松ノ三島、其間ニ並ヒ

テ、各十餘里ノ大島タリ、平戸島ト、相距ル八里計、福江ヲ
本島トナス、南岸ニ城市アリテ、其名ヲ同シクセリ、其他、
富江、玉浦ノ諸港アリ、崎山、笠山、及大瀬崎等、各方ニ突出
シ、島山、嗟峨、及黄島、樺島等、其左右ニ並列セリ、中通ハ、山
王山、中央ニ聳エ、南岬ヲ、棹崎ト云フ、北岬長ク出ヅル四
里、津和崎ト呼ベリ、岬前ニ並列セル群島ハ、斑島、赤島、六
島、大島等ニシテ、野崎島、周回四里、宇久島ハ八里、最北ニ
横レリ、中間ノ一島ハ、沿回七里、是ヲ小値賀島ト云フ、抑
此五島ハ、上世、值嘉島ト呼ビテ、一郷ノ地タリ、而テ平戸
島ヲ、底羅郷トナス、貞觀十八年、其戸口繁盛、産物衆多ニ

シテ、且遣唐使ノ航路ニ當ルヲ以テ、其二郷ヲ并セテ、上
近下近ノ兩郡ヲ建テ、值嘉島ト稱シテ、島司、郡領ヲ置キ
シトゾ、後又廢シテ、松浦郡ノ屬島トナレリ

肥後ハ十五郡、玉名、山鹿、菊池、阿蘇、合志、山本、飽田、託麻、
宇土、八代、葦北、球摩、天草ニシテ、益城ヲ上下ニ分テリ、
肥國ハ、古火國ト云フ、前後兩國ノ間ナル海上ニ、燐火ノ
現ル、ヲ、不知火ト唱ヘ来リシハ、即國號ノ起原ナリ、其
火、今尚宇土、八代、及天草ト相圍ミタル内海中ニ於テ、初
秋ノ闇夜、最克明カニ見ユ、土俗ハ、龍燈ト呼ビテ、来リ觀
ル者、頗多シト云フ、○宇土郡ハ、半島ニシテ、中央ヨリ、西

ニ出ヅル五里、北岸ヲ、宇土長濱ト呼ベリ、其岬端ハ、三角岳高ク聳エテ、大矢野島ト、三角瀬戸ヲ夾ム、峽間五町計、中神島其中央ニ立チテ、大瀬戸小瀬戸ノ稱アリ、戸馳島周回五里、峽南ニ横リテ、蔵々千束島ト相接セリ、○大矢野島ハ、周回十八里ニシテ、天草ノ屬島タリ、其本島ハ、瀬戸島ト呼ビテ、上下兩大島ニ分レ、其他ハ、大小七十島并セテ、一郡トナス、上砥岐下砥岐下須永浦及牧島産島等、共ニ周回一里ヨリ、七里ニ至ル、蔵々千束島モ、亦四里ノ周岸ナリ、瀬戸上島ハ、周回二十七里、倉岳中央ニ峙チタリ、東端ハ、大矢野島ノ間ニ、永浦島樋合島相並ビテ、柳瀬

戸ヲ夾メリ、而テ、下島ノ間ハ、峽中六里、本渡ト呼ビテ、兩岸相逼ル處ハ、海流最急駿ナレド、其退潮スル時ハ、千瀉トナリテ、舟行ヲ通ゼズト云フ、下島ハ、周回七十里、北ハ、肥前ノ島原ト相對シ、南ハ、直ニ薩摩ノ長島ニ接セリ、其間十里ニ亘リテ、西ハ、外海ニ向ヒ、魚貫崎突出シテ、岩礁其海中ニ散布セリ、岬北ノ海灣ヲ、崎津ト云フ、舟泊ノ處タリ、西北ノ志岐崎ハ、富岡港ヲ抱キテ、遙ニ肥前ノ脇岬ト相望メリ、南端ノ良港ヲ牛深ト云フ、正南ニ開キテ、下須島其前ニ峙チタリ、母子岳ハ、島中ノ高山、東岸ニ立チテ、其麓ハ、楠浦御領浦等、共ニ内海ニ臨ミタリ、

阿蘇岳ハ、九州全島ノ中央ニ位シ、最有名ナル噴火山ナリ、其峯甚高カラザルモ、一國ノ主山ニシテ、壽安鎮國山ノ號アリ、四面共ニ群山環圍シテ、山峯其中央ニ峙チタリ、山麓ヲ、阿蘇谷ト呼ビテ、温泉十二場アリ、根子岳其背ニ聳エ、蘇母岳ハ、日向豊後ト三國ノ界ニシテ、保口山、三方山等、深山重岳、其傍ニ並列セリ、涌蓋山其東北ニ立チテ、豊後ニ跨レリ、山間ノ一邑ヲ、小國ト云フ、阿蘇大宮司惟時ガ、謀ヲ少貳大友兩氏ニ通ジ、九代ヲ此地ニ設ケテ、菊池氏ノ糧路ヲ斷チシガ、悉武光ニ撃チ破ラレシトゾ、溪流、左右ニ分レ、共ニ豊後ニ入リテ、大野日田ノ兩川ニ

注ダリ、○三國岳ハ、筑後豊後ノ間ニ峙チ、尾岳、揺岳、鞍岳及甲佐大矢國見月見ノ諸山ハ、中央ニ連リテ、南ニ亘リ、雁侯高楠及薊山、矢山トナリ、球摩郡ノ西ヲ圍ミテ、鬼岳大關岳等、相並ビ、其南隅ハ、矢筈山高ク薩摩ニ跨レリ、國內ノ川流ハ、其大ナル者數條、皆東境ノ重山ニ發源シテ、悉南ニ流レ下レリ、其阿蘇山ニ出ツル者ヲ、白川、黒川ト云フ、其合流ノ處ハ、數鹿流瀧懸レリ、下流ハ、直ニ白川ト呼ビ、流ル、十五里、熊本ヲ過ギ、小島ニ至リテ海ニ入ル、緑川ハ、三方山ヨリ出デ、國ノ中央ヲ貫キ、横野川、男成川等、相集リテ、水勢頗大ナリ、江津廣ノ湖流、及加勢川

ヲ并セ、川尻ヲ歷テ、川尻川ト呼ビ、更ニ曲屈シテ、占閑濱ニ注ダリ、其流二十一里、此兩川ノ中流以下ハ、地勢平坦ニシテ、四方七八里、内海ノ涯迄、田圃速ク連レリ、其河水ハ、縱横環流シテ、甚灌溉ニ便ニス、加藤清正ノ、修治セシ處ニ係レリ、熊本城モ、亦同氏ノ築キシ城郭ニシテ、有名ノ堅要ナリ、白川ヲ帶ビテ、河運ヲ通ジ、金山其西ニ立チテ、海岸ヲ遮リタリ、街市繁盛、人口四萬五千、實ニ西國ノ一大都會ナリ、抑此國ハ、菊池氏ノ世領ニシテ、南北朝ノ際ニ當リ、武時武光等、勤王數世、屢叛亂ヲ討定シテ、勇威ヲ振ヒシトゾ、菊池川、合志川、各郡中ノ水ヲ集メ、隈府ヲ

夾ミテ、相合ヒ、山鹿川ト呼ベリ、隈府ハ、鞍岳ノ西麓ナル古城ニシテ、正觀寺ヲ、菊池氏ノ墳墓トナス、川流ハ、山鹿湯町ヲ過ギテ、又高瀬川ノ稱アリ、環流十九里、海口ヲ晒ト云フ、其海岸ハ、共ニ筑紫瀉ニ連ル内海ニ臨ミテ、沿岸十七里、各川ノ口、共ニ碇泊ニ便ナラザレド、產物ノ衆多ナルヲ以テ、運輸出入、常ニ盛ナリト云フ、八代川ハ、上流ヲ、球摩川ト呼ブ、三急流ノ一ニシテ、其流二十四里ト稱スレド、五家ノ深谷ヨリ、發源セルヲ以テ、其源泉ヲ計レバ、四十里ノ長流ナリト云フ、球摩ハ、山圍ノ中間ニ在ル大郡ニテ、川ノ兩岸ニ亘リテ、地勢大ニ開

久人吉ノ城市、亦小都會ノ地タリ、郡ノ東南ハ、共ニ日向ニ包マレ、國境ハ、十餘里ノ間、惟山岳重叠セルノミニシテ、其經界ヲ定ムル能ハズ、然氏其重山ノ峽際ニ、五家山中米良山中ト呼バル兩邑アリ、米良ハ、人吉ノ東十三里ヲ隔テ、山中ノ封境頗大ナリ、大白髮小白髮ノ兩山、其南ニ聳エ、東ハ、日向ノ中間ニ逼リテ、山路十里、國境ヲ、國見岳ト云フ、其溪流ノ東ニ下ル者ハ、同國ノ一瀨川トナレリ、五家ハ相距ル、東北二十里、平氏遺民ノ潛匿セシ處ニシテ、元和中、始テ往来ヲ通ゼシガ、其行路ハ、險崖危棧ニ由レバ、外人ノ到ル者、甚稀少ナリ、山間數里、人家百戸、古

ヨリ、五家ノ邑長アルガ故ニ此名アリシトゾ、白鳥峯間谷山等、相峙チ、江代、一房、稚葉ノ諸山、相重リテ、日向ノ境ヲ限レリ、山間ノ溪水、悉集リテ、球摩川トナル、白水鳥越川邊及胸川等ヲ并セテ、西ニ流レ、大瀨谷ヨリ、折レテ、北ニ赴キ、又西ニ轉ジテ、海ニ入ル、人吉ヨリ、河運アリ、其流ニ順ヒテ下ルヤ、奔流十六里、僅ニ四時間ニシテ、八代ニ達セリ、其急駿ナルヲ知ル可キナリ、河口ノ海岸ハ、平坦三十里、日奈久、津奈木、海浦、田浦ノ諸港、相列リ、冰川、佐敷川、水俣川等、流レ注キタレ、天草群島ノ其前面ヲ遮リタル内海ニシテ、東西四五里、南北ハ、宇土ヨリ、薩摩瀨戸

ニ至ル二十里、其海底悉遠淺ニシテ、碇泊ノ便ニ堪ヘズ、
濱浦大率新田ヲ開キタリト云フ、

日向ハ五郡、臼杵、兒湯、宮崎、那珂、諸縣ト云フ、
景行帝ノ熊襲ヲ討定セシヤ、高屋ノ行宮ニ在ス、六年、
此國ヤ、直ニ日ノ出ヅル方ニ向ヘリト、詔アリシヨリ、日
向ノ名ハ起リシトゾ、抑此國ハ、大古ノ事蹟アリ、穗日ニ
上峯ハ、天孫降臨ノ地ニシテ、高千穂ハ、神世ノ帝都タリ
トゾ、其他、鶺鴒窟等、今尚其舊跡ヲ存セリ、神武帝ノ皇京
ヲ、中土ニ建テシヨリ、西陲自政化ノ及バザル處トナリ
シカバ、七百年、遂ニ土夷ノ巢窟トナリシトゾ、

霧島山ハ、東西兩峯アリテ、大隅ニ跨リタリ、東ヲ矛峯ト
云フ、傳ヘテ云フ、頂上ニ天逆矛アリ、西ヲ韓國岳ト云フ、
其峯更ニ高シ、共ニ噴火山ニシテ、即ニ上峯是ナリ、左右
ハ、峻山、幽谷、相重リテ、夷守岳、白鳥山等ハ、屬峯中ノ大ナ
ル者ナリ、山際ハ、温泉池沼甚多シ、雌池、雄池、及白鳥、大浪
等、四十八池アリト云フ、其西北ハ、直ニ肥後薩摩ニ接シ
テ、水流ノ、山間ニ發源スル者、西流シテ、薩摩ノ川内川ト
ナリ、南ニ下リテ、大隅ノ新川トナル、其國內ヲ流ル、者
ヲ、赤江川ト云フ、○法華岳ハ、肥後ノ米良山中ヨリ、連リ
來ル山脈ヲ承ケ、國境ノ國見岳ト相並ビテ、國ノ中央ニ

直リ、東南ニ環リテ、牛峠障泥岳小松山鈴峯トナリ、遂ニ
海岸ニ出デ、都井岬ニ盡キタリ、此連山ノ西ハ、諸縣ノ
地ニシテ、霧島山ノ麓ヲ環レリ、其山間ノ一邑ヲ、都城ト
云ヒ、又宮丸ト呼ブ、郡中ノ小都會ナリ、一水南ヨリ来リ、
街市ヲ繞リテ、東北ニ流ル、者ヲ、都城川ト呼ブ、肥後ノ
界ヨリ来ル野尻川ト、法華岳ノ麓ニ合流シテ、赤江川ト
ナル、綾川ハ、南北、兩川アリ、北川ノ源ハ、肥後ノ白髮山ニ
出デ、南川ノ上流ヲ、須木川ト云フ、兩川、相合ヒテ、本流ニ
會シ、南ニ轉ジテ、水勢頗大ナリ、其幅二百間、再東ニ赴キ
テ、宮崎ヲ過ギ、新別府ニ至リテ、海ニ入ル、又大淀川ト呼

ズ、此川ハ、四十里ノ長流ナレド、重山ノ峽際ヲ下ルヲ以
テ、舟運ヲ通ズル者、僅ニ六里ニ過ギズ、○一瀬川ハ、米良
山中ノ水ヲ、集メ来ル者ニシテ、三納川ヲ并セ、佐土原ノ
北ヲ流レテ、二派トナル、故ニ二瀬川ト呼ビタリ、再合フ
ヤ、半里計、田島浦ニ注ダリ、耳川、大丸川、共ニ推葉山ヨリ
出デ、東ニ流ル、十餘里、其源流ノ地ハ、肥後ノ五家山
中ニ、相接スル處ニシテ、胡麻山、轆轤尾等、峽間十里、總テ
推葉山ト呼ベリ、耳川頗大ナリ、河運、十三里、其海口ヲ、美
々津ト云フ、港市ハ、上別府ト呼ビテ、國中第一ノ都會ト
リ、天正中、伊東祐兵ノ、島津氏ニ逐ハレテ、援ヲ豊後ニ乞

ヒシヤ、大友宗麟兵七萬ヲ率キテ、来リ攻ム、島津義久、佐土原ヨリ進ミ、耳川ヲ夾ミテ、相戦フ、島津氏利アラズ、且日、再、河中ニ合ヒテ、奮撃突戦セシカバ、宗麟遂ニ敗レ走レリ、島津氏ノ志ヲ九州ニ得ルハ、實ニ此一大勝ニ由ルト云フ、大九川漸小ナリ、高城高鍋ヲ經テ、蚊口ニ注グヲ以テ、又各地ノ稱呼ヲ用井タリ、○五箇瀨川ハ、其源ヲ肥後ノ三方山ニ發シテ、川走川ト云フ、祖母山高ク國境ニ峙チテ、豊後ニ跨ル、又、姫岳ト呼マリ、其東南ハ、即高千穂郷ニシテ、七折ヨリ、河内ニ至ル七里、村里皆河岸峽間ニ沿ヒタリ、水流ハ、東ニ流レテ、速日岳ノ麓ヲ遶リ、今レテ、

兩流トナル、支流ヲ、大瀨川ト云フ、延岡ノ城市ヲ夾ミテ、相合ヒ、又、祝子川ヲ并セタリ、海口ヲ東海港トナス、北川、北ヨリ来リテ、亦港内ニ注グ、其上流ヲ、宇目川ト云フ、源ハ、豊後ノ桑原山ニシテ、國境ニ跨ル高峯ナリ、梓峠、峻坂數里ナルモ、是ヲ兩國ノ通路トナス、行騰山、速日岳、其脈ニ接シテ、東南ニ並ビ、可愛山、那智山トナリテ、東海港ノ北ヲ限リタリ、以北ハ、沿岸七里ニシテ、國界ニ至ル、斗外崎由テ、其海上ノ一島、港泊アル者ヲ、島浦ト云フ、細島ハ、海島ニアラズシテ、大港ナリ、是ヲ國中第一ノ良泊トナス、延岡ノ南五里ヲ隔テ、其中間ハ、鞍掛崎突出シ

テ、東海ト、兩港ノ間ヲ限レリ、是ヨリ南洋ハ、即日向灘ニシテ、舟人ハ、三十里ト稱セリ、其沿海ハ、二十里、濱浦、大率平坦、相亘リ、海中モ、亦島嶼ナシ、高鍋以北ハ、津濃崎岳尾、鈴山等、相峙チタレド、一瀬、赤江、兩川ノ下流ハ、平野數里、宮崎ニ、神武帝ノ社アリ、其南ハ、中央ニ亘ル山脈ノ絶斷スル處ニシテ、海岸ハ、岬出テ、灣入り、都井岬ニ至ル二十里、油津、外浦ノ兩港アリ、酒谷川、牛岬ニ出デ、飲肥ノ城市ヲ繞リテ、油津ニ注グ、飲肥ハ、伊東氏ノ城地ニシテ、此國ヲ領スル一五世、其舊城ヲ、戸崎ト云ヘリ、海上ハ、島嶼岩礁、散布シテ、海潮頗、急激ナリ、大島、周回、三里、幸島、築島

御戸、落等、相峙チテ、舟行ノ最警戒スル處ク、都井御崎ハ、土肥崎ト云フ、國ノ南岬ニシテ、海中ニ出ヅル一里計、其西又、一岬アリ、長田崎ト云フ、大隅ノ高崎ト、海灣ヲ抱キテ、其沿回、十三里、有明浦ト云フ、志布志、夏井ノ諸濱、相臨ミテ、批榔島、其中央ニ屹立セリ、大隅ハ、八郡ニシテ、曾於、大隅、肝屬、始羅、桑原、菱刈、熊毛、馭謨ト云フ、全道ノ最南隅ナル一大半島ナレバ、國名モ是ヨリ起リシトゾ、北方ハ、山岳相重リ、霧島山、兩岳高ク聳エテ、東岳ハ、日向ニ屬セリ、其山脈、西南ニ出ヅル二十里、曾於、以下

三郡相列リテ、高隈山、其中央ニ高シ、其端稍西ニ向ヒテ、大岬ヲ峙テリ、佐多崎ト云フ、近時燈臺ヲ置キテ、航海ノ方位ヲ示セリ、岬ヨリ西北ハ、薩摩ト相對セル内海ニシテ、東南ハ、悉大洋ヲ受ク、大泊ヨリ、内浦ニ至ル、其間二十里、兩地ノ外、沿岸又港泊ナシ、國見山北隅ニ峙テ、内浦ヲ夾ミテ、兩岬ヲ並出セリ、南岬ヲ火崎ト云フ、遥ニ日向ノ都井岬ト相向ヒ、其間八里計、北岬ハ、即高崎ニシテ、有明浦ヲ抱ケリ、波見港灣ノ西隅ニ臨ミ、一水其源ヲ、高隈山ニ發シ、東ニ流レテ、港内ニ注グ者、亦高隈川ト呼ベリ、内海ノ岸ハ十八里、根占高洲ノ諸村相列リ、神之川、西流

數里ニシテ、根占濱ニ入ル、海潟垂水ハ、櫻島ト海峽ヲ夾ム、其幅三百間、峽内ハ、島陰更ニ入海ヲ抱キテ、沿回十餘里、福山濱市段土ノ濱浦、其灣ヲ環リテ、薩摩ニ亘レリ、濱市ヲ、國分濱トス、新川ノ海口ニシテ、其流八里、霧島山ノ南溪ヲ集メ、懸リテ、犬飼瀧トナリタリ、段土ハ、加治木ト呼ビ、小都會ニシテ、又舟泊ノ處タリ、數流相集リテ、其海濱ニ注グ者ヲ、上別府川ト呼フ、○菱川ハ、霧島山ノ西麓ニテ、日向薩摩ノ際ニ夾マレ、一郡僅ニ十五村、天平勝寶中、土人ノ乞ヲ以テ、郡家ヲ置キシトツ、川流ノ白鳥山ヨリ來ル者、肥後ノ白髮山ニ發スル者ト、相合ヒテ、郡中ヲ

環流シ西ニ流レテ薩摩ニ入ル川内川是ナリ、櫻島ハ周回十里其峯最高ク御岳ト呼ベリ噴火山ニテ頂上ハ黒烟絶エズ島中ニ温泉火坑アリ此島ハ和銅二年ニ涌キ出デシ者ニシテ天平寶字中及文治年間モ亦數箇ノ小島ヲ出セリ蓋火脈ノ地下ニ伏行スル者時アリテハ激發シテ此舉ヲナス近時ハ安永八年峯火盛ニ燃エシ時又五小島ヲ生ゼリ今悉新島ト呼ヘリ天武帝使人ヲ多禰島ニ遣シテ國圖ヲ貢セシム其國ハ京ヲ去ル五千餘里ニシテ筑紫ノ南海中ニ居リト云フ其島ハ今種子島ト呼ビテ熊毛一郡ノ地ナリ佐多岬ノ

東南十里ニ在リ周回三十七里島形狹長ニシテ南北十四里其幅ハ三里ニ充タズ南岬ヲ門倉ト云ヒ北端ヲ御崎ト呼ブ西北ノ赤尾木港ハ薩摩ノ鹿兒島ヨリ海上三十九里馬毛島ハ港西三里ヲ隔テル屬島タリ○屋久島ハ古掖玖島ト云フ馭驥郡是ナリ正西ニ並ビテ相距ル四里餘佐多ノ正南十七里ニ屹立シテ鹿兒島ノ舟路ハ四十八里其形圓ニシテ周回十六里島峯高ク聳ユル者ヲ八重岳ト云ヒ又元見山ト云フ宮浦長田ノ諸濱アリ矢筈崎ハ北ニ出デ御崎ハ西ニ向フ永良部島周回六里御崎ノ正南三里ニ峙チテ是ニ屬セリ其琉球群島中ニ

同名ノ島嶼アルヲ以テ、口永良部ト呼ベリ、抑此兩大島ハ、即古ノ多禰島ニテ、島司郡領ヲ置キシガ、其貢調ハ、僅ニ鹿皮百張ノミ、故ニ損益相當ラザルヲ以テ、天長元年、廢シテ、二郡トナシ、ヨリ、永ク大隅國ニ屬セリト云フ、薩摩ハ十三郡ニシテ、魔島、谿山、給黎、揖宿、頴娃、河邊、阿多、日置、薩摩、伊作、出水、高城、甕島ト云フ、

此國モ、亦半島國ニシテ、大隅ト向背相反セリ、東ハ内海ヲ抱キテ、其他悉外海ニ臨メリ、南端ニ聳ユル一峯ヲ、開門岳ト云ス、又其形ヲ以テ、薩摩富士ト呼ベリ、其岬モ、亦開門崎ト云フ、岬西ハ、沿海悉荒磯ニシテ、坊岬ニ至ル十

一里、其岬ハ、兩角相並ビテ、西南ニ向フ、御崎、蜂崎ト云フ、岬際ヲ、坊津ト云フ、琉球ニ渡航スル要津ニテ、港市頗繁盛ナリ、上世ハ、博多津及伊勢津ト、并セテ、三津ト稱セリ、海岸ハ、更ニ西北ニ轉ジテ、鶴喰崎、秋目島等、相列リ、又、西ニ環リテ、野間岳ノ麓ニ亘レリ、○野間岳モ、亦岬端ニ屹立セル高峯ニシテ、山麓ノ沿岸十里、野間崎、正西ニ突出シテ、最長岬タリ、神世ニ、笠沙御崎ト云ヒシ者、是ナリ、其岸北ニ向フ處ニ、片浦港アリ、羽島崎ト相望ム、直徑九里、其沿灣十二里、海水彎入シテ、濱浦ハ、平砂數里ニ亘リ、海風常ニ吹キ亂シテ、高低定ラズ、吹上ト呼ベリ、帆湊市来

湊等アレヒ、碓泊ニ便ナラズ其上ニ並ブ連山ハ、堀越原野ノ諸山ニシテ、金峯最高シ、

川内川ハ長流四十餘里、大隅ヨリ来リテ、曾木瀑布トナル、西南ニ流レテ、國分水引ヲ過グ、其幅百間計、川内水引川ト呼フ、下流三里ニシテ、京泊港ニ注ダリ、其海口ハ、網津久見崎、相夾ミテ、以北ハ、上宮岳其東ヲ限リ、阿久根浦相連ル八里ニシテ、黒瀬戸ニ至ル、即薩摩瀬戸是ナリ、古ハ、隼人瀬戸ト呼ビシトゾ、脇本米津ノ間二里、長島其前ニ横リテ、兩岸相逼ル三百間、潮汐ノ出入ハ、大河洪水ノ如シ、○長島ハ、周回二十一里、伊唐島四里、戀島五里、獅子

島八里、相連リテ、肥後ノ天草群島ニ接セリ、
甌島ハ、一郡三島ナリ、久見崎ノ正西ニ並ビテ、海程十二里、上島ハ、周回十七里、金山其中央ニ峙テリ、中島ハ、四里、平村ト云フ、下島ハ、南ニ在リテ、其形狭長ナリ、大瀬長濱ノ諸山、相並ビテ、其沿回二十里、西南ノ兩岬ヲ、野崎早崎ト云フ、濱市青瀬ノ諸浦、相列リ、中島近島ノ屬島アリ、其正西海上ニ、鷹島アリ、更ニ西十餘里ヲ隔テ、宇治瀬アリ、共ニ大洋中ノ岩礁ノミ、抑我國ノ地脈、東北ヨリ来ル者、此國及大隅ハ、其絶斷スル處ナレヒ、餘脈尚海底ニ連リ、其峯頂ノ水上ニ屹立スル者ハ、悉噴火山ナリ、竹島黒

島及硫黃島ハ坊岬ノ正西十餘里ニ峙チテ、硫黃島ハ峯
火常ニ燃エタリ、此三島ハ屋久種子ノ諸島ト相並ビテ、
薩摩七島ト呼ビ、其南ニ散布セル群島ヲ寶七島ト呼ビ
タリ、○口島周回、二里、中島四里、諏訪瀨、三里、平島蛇島ハ、
共ニ一里計、蛇島又卧蛇ト云フ、惡石島ハ一里ニ充タズ、
寶島ハ二里、總稱シテ寶七島ト云ヒ、悉河邊郡ニ屬セリ、
然レ寶島蛇島及惡石ノ外ハ居民ナシ、諏訪瀨ハ近來壞
没シテ、暗礁トナレリ、寶ハ土噶囉ト呼ビ、最南ニ在リテ、
口島ト相距ル、殆三十里、而テ琉球ノ大島ト直徑、八十里
ヲ隔テタリ、横島神根島子平瀨ノ小嶼、七島ノ間ニ並ビ、

其近海ハ、岩礁散布シテ、潮流最急激ナリ、
國中ノ山ハ、皆峻岳高峯ナラザレド、平地甚少ク、其脈肥
後ノ球摩ヨリ分ル、者伊作郡ヲ包ミテ中央ニ亘ル、紫
尾、花尾、及冠岳、金峯等、相連レリ、紫尾ハ、即上宮岳ニシテ、
北境ノ矢筈山ニ接セリ、連山ノ南端ハ、左右ニ分レテ、西
ニ赴ク者ハ、野間岳ニ至リ、東南ニ亘ル者ハ、開門岳ニ盡
キタリ、○山川津ハ、開門岳ノ東麓ナル港灣ニシテ、大隅
ノ根占浦ト相對シテ、内海ノ門口ヲ夾ム、三里、其前面ハ、
岩洞石柱相並ビ、海上ノ風景頗奇絶ニシテ、其北ニ峙ッ
一島ヲ、知林島ト云フ、内海ハ、南北、二十里、其幅四里ヨリ、

八里ニ及ブ、沿回五十餘里、連山四周シテ、海上平カナル
時ハ、一大湖水ノ如シトゾ、
鹿兒島ハ、一大都會ナリ、内海ノ岸ニ臨ミ、海水更ニ一灣
ヲナシテ、其内ハ、大船巨艦ヲ繫ク可シ、城市繁盛ニシテ、
人口九萬計、然レ、西隅ニ僻在セルヲ以テ、四方輻湊ノ地
ニアラズ、櫻島ト相向フ、其間一里計、故ニ向島ト呼ベリ、
江月川ハ、甲突ト云フ、其源ヲ、花尾山ニ發シテ、東流六里、
灣内ニ注ケリ、海ロヲ、洲崎ト云ヒ、其海濱ヲ、田浦ト呼フ、
此地ハ、建久中、島津忠久ノ、薩摩大隅ノ地頭職ニ任ゼシ
ヨリ、世々居城シテ、十六世ノ孫義久、大ニ兵カヲ振ヒ、日

向ノ伊東氏ヲ逐ヒ、肥前ノ龍造寺氏ト、肥後ヲ爭ヒ、遂ニ
進ミテ、肥前及兩筑ヲ并セタリ、九州全島、惟兩豊ノ之降
服セズ、天正十四年、大舉シテ、大友氏ヲ攻メ、府内城ヲ陷
レシガ、豊臣氏ノ、勅ヲ奉ジテ、来リ討スルニ及ビ、悉侵地
ヲ收メテ、僅ニ其舊領ヲ付與セシト云フ、

壹岐ハ、一島兩郡ニシテ、壹岐右田ト云フ、

二島ハ、古ヨリ三韓ノ航路ニ當ルヲ以テ、邊要ト稱シテ、
兵備守禦、最嚴ナリ、天智帝ノ時ニ、防人ヲ置キ、仁明帝ニ
至リ、更ニ弩師ヲ置ケリ、此國ノ如キハ、素ヨリ、筑紫ノ一
屬島ノ之、然レ、國司郡領ノ員ヲ設ケテ、非常ヲ警戒スル

一、實ニ西蕃ノ叛亂止ムナキニ依レリ、且女真蒙古ノ入寇モ、此島最先其襲撃ヲ受ケシト云フ、

島形圓クシテ、周回三十八里、東西三里餘、南北ハ、五里ニ充タズ、大山高岳ナク、岬灣出入シテ、島礁散布スレ氏、其際悉舟泊ニ堪ヘタリ、南端ノ初山ハ、鮭鼻ト呼ビテ、肥前ノ馬渡島ト相望メリ、其陰ヲ、郷浦ト云フ、港口西南ニ開キタレ氏、又同國ノ呼子浦ト、七里ヲ隔テ、其海上ハ、大島長島春島平島等、相並ベリ、海岸西ニ向ヒテ、渡良、湯浦ノ二港アリ、牧崎小牧崎、高ク峙チテ、其北端ヲ勝本トナス、島中ノ都會ナリ、若宮島名烏島、辰島、其北ニ並列シテ、陸

地ニ接シ、各海峡ヲ夾ミテ、大瀬戸小瀬戸ノ稱アリ、魚釣山ハ、東北ノ岸上ニ峙チテ、其峯直ニ岬角ヲナセリ、岬ヨリ南ニ、海灣深ク入ル處ハ、瀬戸蘆邊ノ兩港相望ミ、谷合川、其灣内ニ注ゲリ、一岬長ク其東ニ突出セル者ヲ、八幡崎ト云ヒ、又長者原ト呼ベリ、八幡モ、亦舟泊ノ處タリ、○印通寺浦ハ、正南ニ向ヒタル港灣ニシテ、妻島其前ニ峙チテ、又上瀬戸、下瀬戸ノ兩海峡ヲナセリ、對馬モ、亦上縣下縣ノ二郡ニシテ、兩島ニ分テリ、一國ヲ分チテ、上島下島ト云フ、其經界ハ、西ニ海灣深ク入り、東ハ海峡ヲ通ジテ、兩島隔絶セリ、其海峡ヲ、大船越

ト云フ、峽間八町、瀬戸口ヲ、渡津トナス、其幅二十四間、其
狭處ハ、僅ニ八間ニ至ルト云フ、而テ海灣ノ周岸ハ、出入
屈曲シテ、滿切千切寸斷及聖王崎等、相峙ツヲ以テ、沿回、
殆十五里、淺茅浦ト云フ、島山島周回十一里、其中央ニ横
リテ、三室島等、其傍ニ並列セリ、灣口一里、其内ハ、數千ノ
大艦ヲ繫ク可シ、大口ト呼ビテ、島中第一ノ佳港トス、
上島ハ、周回五十里、島中ハ、山岳重疊シテ、平地少ク、其東
ニ向フ者ヲ、有明山ト云ヒ、西ニ臨ム者ヲ、矢立山ト云フ、
北方ハ、城岳、白岳、相並ビテ、海灣ノ岸ニ聳エ、南岸ハ、龍良
山ニ、雌雄兩峯アリテ、神崎、豆酸崎ノ兩角突出セリ、共ニ

岩礁ノ海上ニ連ル者ニテ、危險ノ處タリ、○嚴原ハ、元府
中ト云フ、南ニ開キタル港灣ニシテ、宗氏世々ノ居城ナ
レバ、島中ノ一都會タリ、壹岐ノ勝本ト、相距ル十二里、凡
内地ヨリ、渡航スル者、皆共ニ此港ニ來レリ、
下島ハ、御岳高ク聳エテ、一島ノ主山タリ、其沿回、百三十
六里、佐護川岳際ヨリ出デ、美濃殿ノ瀑布トナリ、西北
ニ流ル、三里ニシテ、西岸ニ注ゲリ、其海口ヲ湊ト云フ、
佐須奈港、其北ニ在リテ、舟泊ノ處タリ、東南岸ノ港泊ヲ、
鴨居瀬ト云フ、沖島其前ニ峙チテ、紫瀬戸ヲ夾ミ、赤島、黒
島、其外ニ並ビタリ、○鰐浦ハ、北端ニ臨ミ、遥ニ朝鮮ノ釜

山浦ト相對シテ、海上直徑十三里、抑此島ハ、三韓朝貢以來、既ニ二千年、常ニ其往来ノ要津ニ當レリ、國名ハ、即其意ニシテ、上世ハ、津島ト呼ビシトゾ、

物産ハ、全道中肥後最多シ、米穀果實ヨリ、材木藥品、及藍紙、烟草等ニ至ル、一百二十種、礦物ハ、阿蘇ノ硫黃、球摩ノ銅山ニテ、天草島ニ、石炭七坑アリ、抑石炭ハ、西國用弁來ル、最久シ、故ニ豊前筑前肥前ノ三國、并セテ、一百三十餘場、而テ、肥前ノ高島坑、特ニ盛大ナリ、其他豊後ニ錫鉛、薩摩ニ金銅ノ諸礦アリ、全島山野ノ間ハ、檀ヲ植ウル者、往々數里ニ亘リ、兩筑及肥前薩摩ノ蠟、製造頗大ナリ、烟

草モ、亦各國ノ輸出アレ、大隅ノ國令、最其名ヲ得タリ、博多織小倉織ハ、有名ノ良品ニシテ、諸國同製ノ者モ、共ニ其名ヲ呼ビテ、織布ノ定名トセリ、博多ハ、又絞ヲ出シ、久留米ハ、薩摩總ヲ擬造セリ、陶器ハ、肥前有田ノ産ヲ、本邦第一トス、錦手染付ノ美麗ナルヲハ、大小方圓、悉其精巧ヲ極メテ、海外諸州ノ、共ニ賞譽スル所トナレリ、伊萬里、唐津ハ、古來其製工アリテ、直ニ燒物ノ總稱トスルヲ、猶尾張ノ瀬戸ノ如シ、佐嘉モ、亦各樣ノ器皿ヲ出セリ、薩摩燒ハ、其品ヲ異ニセルハ、蓋朝鮮征伐ノ役ニ、其俘虜ヲ、苗代村ニ置キシ者ノ、製スル所ニ係レリ、薩摩上布薩摩

總ハ、皆琉球ヨリ轉致シテ、其名ヲ蒙ラセシ者ナリ、其薩摩杉モ、亦屋久島ノ産ニ屬セリ、種子島ハ、牛馬ト唱フル一異獸アリ、寶七島ノ疊表ハ、全道其製ヲ同シクスル者、皆七島表ト呼ベリ、而テ霧島山ノ檜、山國谷ノ杉、共ニ良材ノ稱アリ、海産ハ、豊後ノ佐伯、九十九浦ト呼ビテ、鯧、鰹、鰯、鮪等、輸出頗多シ、其壹岐對馬、及平戸、天草ノ諸島モ、鰹、鰯、鮪、及海參、海布ノ類アリ、前海ハ、鱈魚、海茸ノ異産アリ、矢部川、筑後川ノ下流、鹹淡交流ノ處ニ生ザリ、對州ノ泥雲丹、野母ノ唐墨、別ニ一美味タリ、五島ノ鯨獵、殊ニ盛大ニシテ、土佐、熊野、人、遠ク及バザル所ナリト云フ、

琉球

琉球ハ、南海中ノ一島國ナリ、其属島、大小四十餘箇、南中北ノ三方ニ分レ、寶七島ヨリ、西南ニ亘リテ、支那ノ臺灣島ニ接セリ、其群島ハ、聯連斷續シテ、二百里ノ間ニ並列シ、大平洋ト支那海ノ間ヲ限リテ、海水ノ經界ヲナス、猶北海ノ千島ノ如シ、中島ヲ沖繩ト云ヒ、南ヲ先島トシ、北ヲ大島トス、上世ハ、總テ南島ト稱シテ、各島皆君主アリ、天武、文武ノ兩朝ヨリ、阿摩彌、度感、信覺、玖美等ノ島人、相繼キテ入貢セリ、中世ハ、鬼界島ト呼ヒテ、時ニ叛離アリシガ、文治四年、源頼朝、將士ヲ遣シテ、征服セシトガ、迄

世ニ至リ、琉球ヲ定名トナシテ、中山王ト稱セリ、其始、天孫氏、二十五世、惠祖ニ至リテ、其政衰フ、逆臣利勇篡シテ自立セリ、永萬中、源為朝伊豆ノ謫處ヨリ、海ニ航シテ、此島ニ來リ、其子舜天、利勇ヲ誅シテ、是ニ代ル、三世ニシテ、惠祖ノ孫英祖ニ讓レリ、實ニ文應元年ナリ、此時、大島ヲ并セ、文中年間、先島悉來屬セリ、是ヨリ先國中ハ、山南山北、中山ノ三部ニ分レ、攻争百年、中山王、遂ニ并セテ、一トナセリ、後、文明二年ニ至リ、舜天ノ裔尚圓、復王位ニ即キシヨリ、傳ヘテ、今日ニ至レリ、初、嘉吉中、足利氏、此國ヲ島津義國ニ賜ヒテ、其屬領トナシ、カ、天正十七年、其命ニ

從ハガルニ依リ、征討ノ兵ヲ勞セシトゾ、然氏、其國尚、本邦及支那ニ兩屬セリ、故ニ風俗モ、兩國ヲ雜ヘタレ、氏、舜ハ邦語ノ轉訛セル者ニテ、文字モ亦假字ヲ用キル、海風常ニ猛烈ナレハ、民屋皆矮小ナリ、每歲夏秋ノ際ハ、颶風必起ルト云フ土地ノ區分ハ、間切ノ稱アリテ、猶内地ノ郡ノ如シ、全島ノ人員、三十四万三千口ニシテ、沖繩一島、十六万七千ヲ有テリ、明治五年、其國ヲ建テ、藩トナシ、其王ヲ華族ニ列ネシヨリ、永ク全屬ノ國トナリタリ、沖繩島ハ、中央ノ一大島ニシテ、琉球ノ本島タリ、又大琉球ト云フ、島形、狹長ニシテ、長、三十里、其幅ハ、二里ヨリ十

里ニ至ル、周廻、百十四里、北ヲ頭トシ、南ヲ尾トシテ、國頭中頭、島尻ノ三省ヲ建ツ、即、山北、中山、山南ノ三區域ナリ、島背ノ山脉ハ佳蘇名護、恩納、八頭、及、辨岳ヲ、五岳ト呼フ、佳蘇岳、最高シ、河流、共ニ短少ニシテ、僅ニ富藏、大榮ノ兩川アリ、○首里ハ、全嶋ノ首都ニシテ、即、玉城ノ地ナリ、那霸港ト相距ル一里計、其港ヲ島中第一ノ大灣トス、正西開キテ内外、兩港ヲナス、岩礁、其前ニ並列スレテ、却テ海水ノ衝突ヲ防キタリ、支那、及、先島ノ海運ハ、皆此地ヨリ出入セリ、西北ニ運天港アリ、佳蘇岳ノ陰ニ當リ、沖那、屋加ノ兩嶋、峙チテ、海灣ヲナシ、其口、北ニ向ヒテ、大島、及、内

地ニ往來スル要津タリ、島ノ四邊ハ島嶼、岩礁、甚、多シ、其大ナル者ハ、計羅摩島、周廻三里、座間味島、二里、相共ニ西南ニ並ベリ、久米島、最西ニ峙チテ、支那航海ノ標準ニシテ、周廻六里、島嶼ヲ金城山ト云フ、北ニ散布セル群島ハ、伊惠、粟國、戸無、伊足那、惠平屋等、相列リテ、島嶋、最、速シ、噴火山ニシテ、硫黃山、又、黒島ト呼フ、而テ、津堅、久高、平安座、宮城、及、濱島、池島ハ直ニ本島ノ東南岸ニ接セリ、大島ハ、喜界、永良部、及、徳島等、十餘ノ属島アリテ、其總稱トナセリ、本島ハ沖繩島ニ對シテ、小琉球ト呼ヘリ、東西二十里、南北ハ六里、其沿廻、六十里、湯灣岳、高ク北端ニ聳

エタリ、島中ノ主山ニシテ、各島ノ山脉、皆是ヨリ起レリ、古ハ阿摩彌岳ト稱ス、上世、此山ニ降臨セル神人ヲ、阿摩美久ト云フ、即天孫氏ノ始祖ト傳フル故ニ、島名モ又阿摩彌ト呼ヒシトゾ、永明、清水、菊花ノ諸山、其脉ニ承ケテ、南ニ並列ス、住用川ハ、兩源、相合ヒテ、東ニ流ル、一里、各島中ノ大川ナリ、海口ヲ住用港トナス、其地、銅鑛アリテ、船舶、常ニ輻湊セリ、此島ハ、周岸、悉港灣相列リテ、焼内、龍郷ノ兩泊、最良港タリ、龍郷ハ、笠利崎出テ、海灣ヲ擁ス、其岬ヲ島ノ北端トナス、焼内ハ灣内、深ク入り、其口ニ峙テル小島ヲ、伊太天良ト云フ、奈瀬ト、共ニ西ニ向ヒタル

港灣ナリ、奈瀬ヲ島中第一ノ都會トナス、加計留摩島ハ、本島ノ西南ニ接シ、兩岸、相通リテ、海水、甚深ク、峽際ニ里、皆碇泊ニ堪ヘタリ、其南ニ並フ兩島ヲ、宇計、與呂ト云フ、○喜界島ハ、周回、七里、本島ノ正東ニアリ、山岳ナク、樹木少シ、椀泊ヲ舟泊トナス、鬼界ハ、全島ノ總稱ナリシガ、各其名稱ヲ定ムルニ及ビテ、遂ニ獨此島ヲ呼ヒ、且、其文字ヲ改メタリ、○徳島ハ、属島中ノ大ナル者ニシテ、周回、ニ十里、度感島、是ナリ、本島ノ正南ニ三岳、並ヒ峙チテ、其高ハ、湯灣岳ニ次ケリ、海濱ハ、平地、相列リテ、秋徳、井之川、和爾也泊ノ三港アリ、永良部嶋ハ、更ニ其南ニ峙テリ、大島

沖繩ノ兩島ハ、相距ル六十里、此島、其中央ニ屹立シ、一島、
岩石ニシテ、僅ニ和泊アルノミ、周回、十四里、沖永良部ト
呼ヒテ、大隅ノ同名ニ分テリ、又、其南ニ與論島アリ、亦、岩
石重疊シテ、沖繩屬島ノ惠平屋島ト相對セリ、
先島ハ南方ニアリテ最先ナル群島ノ意ナリ、八重山、太
平山ヲ共セテ、其總稱トナセリ、沖繩島ト、相距ル九十里、
中間ハ海上ニ方二里ノ大暗礁アリテ、潮流、最急激ナリ、
八重干瀬ト云フ、○太平山ハ本名ヲ宮古島ト云フ、周回
十一里ニシテ諸島ノ東ニ在リ、其沿海モ、暗礁、頗多シ、西
港ヲ斜水ト云ヒ、北岬ヲ世登ト云フ、中央ニ筑山、高ク峙

チタリ、伊計間、宇加間、米間、及、大高見等ノ屬島アリ、永良
部、太良末ノ兩島、頗大ニシテ、周回、各四里、永良部ハ、上ノ
兩島ニ對シテ、與永良部ト呼ヘリ、太良末ハ、南ニ立チテ、
八重山ト相望ミタリ、○八重山ハ、兩島ニ分レ、石垣島、周
回十六里、古ノ信覺島、是ナリ、入表島ハ十五里、一ニ姑彌
島ト呼フ、即、玖美ナリ、石垣ハ西岸ニ河平港アリ、其島峰
ハ、於茂登岳、頗高ク峙テリ、入表嶋、其西ニ在ルヲ以テ、又
西表ト云フ、古見、比計川、曾奈比ノ三港アレ、共ニ小灣
ナリ、此兩島ノ屬島ハ、武富、波照間、小濱、新城、鳩間、黒島等、
其左右ニ散布シ、與那國島ハ、周回五里、最西、二十餘里ヲ

隔テ、海中ニ孤立シ、高砂島ト相距ルモ、海程亦相若ケリ、其島人尚兇暴ナル野蠻ニシテ、内地ノ人容易ニ近ク可キ處ニアラズト云フ、高砂ハ、即臺灣ノ琉球稱ナリ、物産ハ、米、麥、黍、菽アレ、土人悉甘薯ヲ食料トス、各島皆松、檜、椴、桐、蕪、鐵、及名護蘭、觀音竹、落花生等繁茂セリ、氣候暖熱ナル故ニ、終歲凋落セス、砂糖ハ、大島最盛ニシテ、上布ハ、崎島ヲ良品トス、其他、紬、緞、芭蕉布、阿旦布、及泡盛、塩豚、塗物、墨、表等ノ諸工品アリ、海産數十種、鯨魚甚多シ、永良部鰻ハ、其長一丈餘、實ニ又一奇産ト云フ可シ、日本地誌要略卷之六終

明治八年十月十六日
版權免許

東京府平民
編者版主 大槻修二

東京淺草北富坂町
三十四番地



東京	淺草茅町二丁目	北澤	伊八
叢允	馬喰町二丁目	石川	治兵衛
書林	芝太神前	山中	市兵衛
	日本橋通二丁目	小林	新兵衛
	同所	稻田	佐兵衛

終

